保健管理センター年報

第 33 号

（平成20年度）

岐阜大学保健管理センター

巻　頭　言

平成20年度の岐阜大学保健管理センター年報をおとどけします。
発刊が遅れましたことを、お詫び申し上げます。

さて、最近の保健管理センターにとって、最大のできごとは2009年新型インフルエンザの世界的流行でした。新型インフルエンザへの対応は今も継続しています。これまでのところ、岐阜大学ではうまく対応ができたと自負しています。その理由は、センター内での連絡や意思決定が迅速にしかも的確にできたことです。センターのスタッフ全員と、大学総務課、学務課の事務官が、月一回全員集合するフェイス・トゥー・フェイスのスタッフミーティング、そして、その間をうめるように、適宜 e-mail で連絡をとる習慣です。このしくみにより、センター内部の討議や意思決定が円滑にできました。もうひとつ特記すべきことは、この間、センター外の方々、とくに大学首脳部が、現場の専門家の意見を尊重し、意思決定のかなりの部分を我々にまかせてくださったことです。そのため、さらに迅速な意思決定ができました。

とはいえ、政府や県の方針が、たびたび変更されたり、マスコミの報道に影響されたりしながら、岐阜大学独自の方針を打ち出すには大変な努力が必要でした。この間の努力によって、保健管理センターのシステムにはさらに磨きがかかったように思います。まさに「艱難汝を玉にす」です。新型インフルエンザへの対応はまだまだ予断をゆるしませんが、今後もスタッフが一丸となってがんばりたいと思います。

平成21年12月に記述

保健管理センター長　　清　水　克　時

目　　次

巻頭言……岐阜大学保健管理センター長　清水克時

Ⅰ　平成20年度　健康管理状況の報告

1．平成20年度　学生の健康管理事業計画 …… 1
2．定期健康診断 …… 2
1）平成20年度　定期健康診断実施結果…… 2
2）定期健康診断受診率・年次推移…… 2
3）平成20年度　定期健康診断日程と予定対象者数…… 3
4）平成20年度　定期健康診断受診状況…… 4
5）定期健康診断　有所見率と判定基準…… 5
6）胸部Ｘ線撮影 …… 6
7）尿検査…… 7
8）血圧測定…… 9
9）内科診察…… 10
10）新入生・編入生心電図検査…… 11
11）身体計測…… 12
12）学生の健康診断問診票・生活習慣に関するアンケート結果…… 14
3．留学生健康診断…… 15
4．特殊健康診断…… 16
5．新入学生・新３年生健康調査（面接）フォローアップ状況…… 18
6．国家資格授与認可のための医療面接…… 19
7．各種行事（岐大祭・入試等）救護…… 19

Ⅱ　平成20年度　保健管理センター年間主要業務報告

1．年間業務報告（関係行事）…… 21
2．保健管理センター利用状況…… 22
3．禁煙支援状況…… 24
4．健康診断証明書発行状況…… 26
5．学生相談室利用状況…… 27

Ⅲ　研究・調査報告

１．保健管理センタースタッフの業績 …… 29

Ⅳ　教育・広報活動

１．保健管理センター利用案内 …… 43
２．保健管理センターニュース刊行 …… 45

Ⅴ　保健管理センター規則等

１．岐阜大学保健管理センター規程 …… 47
２．岐阜大学保健管理センター運営委員会細則 …… 48
３．岐阜大学保健管理センター学生相談室細則 …… 50
４．岐阜大学健康管理機構略図 …… 51
５．保健管理センター学生相談室員・学校医 …… 51
６．保健管理センター関係委員会及び関係職員 …… 53
７．保健管理センター位置図 …… 54

Ⅰ　平成20年度　健康管理状況の報告

１．平成20年度　学生の健康管理事業計画

２．定期健康診断

３．留学生健康診断

４．特殊健康診断

５．新入学生・新３年生健康調査（面接）
　　フォローアップ状況

６．国家資格授与認可のための医療面接

７．各種行事（岐大祭・入試等）救護

Ⅰ　平成20年度　健康管理状況の報告

1．平成20年度　学生の健康管理事業計画

	区分		対象者	実施時期	検査項目
健康調査（UPI）	健康調査及び個人面接	全員面接	新入生・編入生全員	H20.2／14・15、3／14・15、3／27	健康調査カード（UPI）による個人面接
		二次面接	要再面接者	6月下旬	精神科医等による再面接
	3年生健康調査	健康調査票提出	新3年生希望者	定期健康診断時提出	健康調査カード（UPI）によるスクリーニング
		個別面接	要面接者	4～5月	精神科医等による面接
定期健康診断	定期健康診断		学部、大学院、専攻科、別科、研究生	在学生：H20.2／19～21、2／26～29、3／3～6（H20年度定期健康診断として実施） 新入生・編入生：4／1～4	問診、内科診察、胸部X線間接撮影、身体計測、体脂肪率測定、視力測定、血圧測定、尿検査（蛋白・糖・潜血）、歯科健康診断（学部1・4年生）、心電図検査、血液検査（新入生・編入生）
	定期健康診断事後措置	肥満	BMI 25以上経過観察者	血液検査(健診当日) 血液検査結果説明 在学生3月～7月 新入生5月～7月	問診、血液検査、保健指導
		10kg以上／年増減			
		やせ	BMI 16.0以下（既受診者で異常なしを除く）		問診、血液検査、保健指導
		胸部レントゲン	間接撮影有所見者	随時	内科診察（病院紹介）
		血圧・脈拍	最高血圧　135以上 最低血圧　85以上 脈拍　120以上	在学生3月～5月 新入生4月～5月	血圧測定、脈拍測定、保健指導
		貧血	内科診察有所見者	血液検査（健診当日）・再検査 血液検査結果説明 在学生3月～7月 新入生5月～7月	血液検査、保健指導
		不整脈等脈拍50以下			心電図検査、保健指導
		その他			内科診察
		尿糖	尿糖陽性者		尿検査、血液検査、保健指導
		尿検査（蛋白・潜血）	尿蛋白・潜血陽性者	在学生3月～5月 新入生4月～5月	尿検査
その他健康診断	特殊健康診断		該当者	4月、5月、10月	問診、診察、血液検査、尿検査
	特殊健康診断事後措置		有所見者	6月、11月	内科診察、保健指導
	留学生健康診断		該当者	10月	定期健康診断に準ずる（血液検査を追加実施）
	留学生健康診断事後措置		受診者全員	11月、12月	内科診察、保健指導
	臨時健康診断		伝染病が発生した時に必要に応じて行なう		
健康教育	講習会		学生・教職員	随時	緊急時救命に関する講習会
その他	復学者面談		後期から復学した学生	11月	カウンセラー等による面談
	入試救護		該当者	センター入試、前後期入試、各学部入試	入試時応急処置
	国家資格授与認可のための医療面接		医学科、獣医学科	3月	問診、精神科医面接
	応急処置		学生、教職員、本学来訪者	通年	診察、処置、投薬、所内検査等
	メンタル相談		学生、教職員	通年	精神科医、臨床心理士、カウンセラーによる相談
	禁煙指導		学生	通年	内科診察（院外処方箋発行）、保健指導

2．定期健康診断

1）平成20年度　定期健康診断実施結果

定期健康診断は、本学に在籍する正規学生（7,274名）と研究生を対象に実施した。在学生は２月19日～３月６日、20年度新入生は４月１日～４月４日の期間、延15日間で実施した。受診者数は学部生4,922名、院生1,090名の計6,012名（他医療機関での健診結果提出者86名を含む）であり、研究生52名と合わせて6,064名だった。受診率は学部生84.6％、院生74.7％だった。また、学部新入生の健診は、入学式前に実施しているが、受診率は98.7％と昨年に引き続き高かった。

2）定期健康診断受診率・年次推移

A）学年別推移（学部生）　（単位　％）

	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
1　年	84.5	82.8	91.0	90.7	92.4	93.9	82.6	98.8	98.5	98.0	98.7
2　年	70.0	68.3	71.7	84.5	78.6	83.1	86.0	79.1	82.9	85.3	79.2
3　年	86.1	73.9	83.8	85.1	89.4	86.1	88.1	86.0	73.8	76.6	82.1
4　年	80.4	83.1	82.5	82.4	82.7	83.2	80.4	83.5	81.3	80.2	79.3
5　年	69.5	73.1	80.0	94.6	84.6	71.6	73.5	78.6	54.1	78.1	81.3
6　年	98.0	90.2	99.1	99.0	92.2	100.0	87.7	92.1	91.1	92.8	91.6
学部全体	80.3	77.5	82.5	85.9	85.7	86.0	85.7	86.7	83.5	84.7	84.6

B）学部別推移　（単位　％）

	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
教育学部	89.5	90.7	91.5	94.5	95.9	94.2	91.7	95.7	94.4	93.7	95.6
地域科学部	88.8	81.5	85.8	87.9	89.9	85.7	86.8	90.9	92.0	89.1	88.9
医学部（医学科）	67.1	70.3	72.6	87.1	88.7	91.4	88.0	84.4	78.7	80.1	79.3
医学部(看護学科)				95.7	85.5						
工学部（昼間）	78.3	74.0	81.1	82.2	82.1	82.9	82.6	84.3	76.8	81.5	80.3
工学部（夜間）	55.9	59.1	71.4	74.0	67.1	64.7	60.9	60.1	57.0	50.5	51.5
応用生物科学部	87.4	79.3	83.4	87.7	85.7	85.9	89.8	87.0	91.9	87.8	88.0
学部全体	80.3	77.5	82.5	85.9	85.7	86.0	85.7	86.7	83.5	84.7	84.6

注）平成16年３月　農学部廃止、同年４月 応用生物科学部設置

3）平成20年度　定期健康診断日程と予定対象者数

月/日	区分	性別	学部・学科等	対象人数
2/19（火）	大学院在学生	女性	農研Ｍ２、連獣Ｄ２・３・４、連合創薬	646
			教研Ｍ２、地研Ｍ２	
			工研Ｍ２、工研Ｄ２・３、連農Ｄ２・３	
			医研Ｍ２、医研Ｄ２・３・４	
		男性	医研Ｍ２、教研Ｍ２、地研Ｍ２	
			医研Ｄ２・３・４	
		男性	農研Ｍ２	
			連農Ｄ２・３、連合創薬	
			連獣Ｄ２・３・４、工研Ｄ２・３	
			工研Ｍ２（社会基盤）	
			工研Ｍ２（機械システム）	
			工研Ｍ２（応用化学）	
2/20（水）		男性	工研Ｍ２（応用情報）	370
			工研Ｍ２（生命工学、数理デザイン）	
			工研Ｍ２（電気電子）	
			工研Ｍ２（機能材料）	
			工研Ｍ２（人間情報）	
			工研Ｍ２（環境エネルギー）	
	学部2年生	女性	応用生物（食品生命）	
			応用生物（食品生命）	
			応用生物（生産環境）	
			医学部（看護学科）	
			医学部（看護学科）	
			医学部（看護学科）	
2/21（木）		女性	教育（国語・社会・数学）	397
			教育（理科・音楽）	
			教育（美術・保健体育・技術・家政）	
			教育（英語・特別支援・学校教育）	
			教育（生涯教育・生涯教育課程）	
			医学部（医学科）、応用生物（獣医）	
		男性	教育（国語・社会・英語）	
			教育（数学・理科・音楽・美術）	
			教育（保体・技術・特別支援・学校教育・生涯教育・生涯教育課程）	
			応用生物（食品生命）	
			応用生物（生産環境）	
			応用生物（獣医）、医学部（看護学科）	
2/26（火）		男性	工学部（応用情報）	436
			工学部（応用情報）	
			工学部（人間情報）	
			工学部（機能材料）	
			工学部（機能材料）	
		男性	工学部（数理デザイン）	
			工学部（生命工学）	
			地域科学部	
		女性	工学部（社基・機械・応化・電気・人情・数理）	
			工学部（生命・応情・機材）	
			地域科学部	
			地域科学部	
2/27（水）		男性	工学部（社会基盤）	447
			工学部（社会基盤）	
			工学部（機械システム）	
			工学部（機械システム）	
			工学部（応用化学）	
			工学部（電気電子）	
		男性	医学部（医学科）	
			医学部（医学科）	
	学部4年生以上	女性	応用生物（食品生命）	
			応用生物（食品生命）	
			地域科学部	
2/28（木）		男性	地域科学部	452
			工学部（社会基盤）	
			工学部（社会基盤）	
			工学部（機械システム）	
			工学部（機械システム）	
			工学部（応用化学）	
		男性	工学部（電気電子）	
			工学部（電気電子）	
			工学部（機能材料）	
			工学部（応用情報）	
			工学部（応用情報）	
			工学部（生命工学）	

月/日	区分	性別	学部・学科等	対象人数
2/29（金）	学部4年生以上	女性	教育（国語・社会）	425
			教育（数学・理科・生涯教育）	
			教育（音楽・美術・保健体育）	
			教育（技術・家政・英語）	
			教育（障害児・学校教育）	
			教育（生涯教育課程）	
		男性	教育（国語・社会・英語）	
			教育（数学・理科・音楽・美術）	
			教育（保体・技術・障害児・学校教育・生涯教育・生涯教育課程）	
			応用生物（食品生命）	
			応用生物（生産環境）	
			工学部（夜間主）、応用生物（獣医）４年	
3/3（月）		男性	工学部（人間情報）	406
			工学部（人間情報）	
			工学部（数理デザイン）	
			応用生物（獣医）５・６年	
		女性	応用生物（獣医）４・５・６年	
			工学部（社基・機械・機能・応情・人間情報・数理）	
		女性	工学部（応化・生命・電気・夜間主）	
			応用生物（生産環境）	
			応用生物（生産環境）	
	学部3年生	女性	応用生物（食品生命）、応用生物（獣医）	
			応用生物（食品生命）	
			応用生物（生産環境）、工学部（夜）	
3/4（火）		男性	工学部（社会基盤）	458
			工学部（機械システム）	
			工学部（応用化学）	
			工学部（電気電子）	
			工学部（電気電子）	
			工学部（数理デザイン）	
		女性	教育（国語・社会）	
			教育（数学・理科）	
			教育（音楽・美術・保健体育）	
			教育（技術・家政・英語）	
			教育（養護・学校教育）	
			教育（生涯教育・生涯教育課程）	
3/5（水）		男性	教育（国語・社会・英語）	474
			教育（数学・理科・音楽・美術）	
			教育（保体・技術・養護・学校教育・生涯教育・生涯教育課程）	
			応用生物（食品生命）	
			応用生物（生産環境）	
			地域科学部	
		男性	工学部（応用情報）	
			工学部（応用情報）	
			工学部（生命工学）	
			工学部（人間情報）	
			工学部（機能材料）	
			応用生物（獣医）、工学部（夜間主）、医学部（看護学科）	
3/6（木）		女性	地域科学部	221
			地域科学部	
			医学部（看護学科）	
			医学部（看護学科）	
			工学部（社基・機械・応化・機能・応情・人間情報・数理）	
			工学部（生命・電気）	
4/1（火）	学部新入生・学部編入生・大学院新入生	女性	教育学部	527
			医学部（看護学科）	
		男性	教育学部	
			医学部（看護学科）	
4/2（水）		女性	応用生物科学部	596
			地域科学部	
			農業別科	
		男性	地域科学部	
			農業別科	
			応用生物科学部	
4/3（木）		女性	工学部	620
			大学院	
		男性	工学部	
			大学院	
4/4（金）		女性	工学部	601
			医学部（医学科）	
		男性	医学部（医学科）	
			工学部	
			大学院	
予定対象者数				7,076

4）平成20年度　定期健康診断受診状況

		学生数	休学者数	対象数(a)	他機関で受診(b)	健診日受診数(c)	受診者数(b+c)	受診率(b+c)/a
学部	教育学部	1,139	14	1,125	20	1,055	1,075	95.6%
	地域科学部	463	4	459	4	404	408	88.9%
	医学部	839	8	831	2	657	659	79.3%
	工学部（昼）	2,463	24	2,439	15	1,943	1,958	80.3%
	工学部（夜）	69	3	66	2	32	34	51.5%
	応用生物科学部（農学部含む）	904	9	895	9	779	788	88.0%
	計	5,877	62	5,815	52	4,870	4,922	84.6%
大学院	教育学研究科	172	3	169	3	103	106	62.7%
	地域科学研究科	44	5	39	3	22	25	64.1%
	医学系研究科M	31	1	30		28	28	93.3%
	医学系研究科D	55	13	42	2	19	21	50.0%
	医学系研究科	181	32	149	7	47	54	36.2%
	医学系研究科（看護学）	25	1	24	1	10	11	45.8%
	工学研究科M	594	8	586	8	541	549	93.7%
	工学研究科D	89	9	80	1	26	27	33.8%
	応用生物科学研究科	107	1	106	3	100	103	97.2%
	農学研究科	94	3	91		70	70	76.9%
	連合農学研究科	84	5	79	3	53	56	70.9%
	連合獣医学研究科	44	1	43	2	29	31	72.1%
	連合創薬医療情報研究科	21		21	1	8	9	42.9%
	計	1,541	82	1,459	34	1,056	1,090	74.7%
総計		7,418	144	7,274	86	5,926	6,012	82.7%
研究生						52	52	
研究生を含む受診者数						6,064	6,064	

		学生数	休学者数	対象数(a)	他機関で受診(b)	健診日受診数(c)	受診者数(b+c)	受診率(b+c)/a
学部	1年	1,322	3	1,319	3	1,299	1,302	98.7%
	2年	1,289	1	1,288	16	1,004	1,020	79.2%
	3年	1,436	6	1,430	12	1,162	1,174	82.1%
	4年	1,610	51	1,559	18	1,219	1,237	79.3%
	5年	112		112	1	90	91	81.3%
	6年	108	1	107	2	96	98	91.6%
	計	5,877	62	5,815	52	4,870	4,922	84.6%

5）定期健康診断　有所見率と判定基準

延べ有所見者数		
	学部	1,037件
	大学院	294件
	研究生	2件
	総計	1,333件

検査項目		再検基準	学部			大学院		
			検査項目受診数	有所見数	有所見率	検査項目受診数	有所見数	有所見率
胸部X線		所見あり	4,902	138	2.8%	1,053	21	2.0%
尿検査	蛋白	(+)以上	4,896	103	2.1%	1,056	15	1.4%
	潜血	(+)以上	4,896	38	0.8%	1,056	14	1.3%
	尿糖	(+)以上	4,896	8	0.2%	1,056	9	0.9%
血圧		最高血圧140以上、最低血圧90以上 最高血圧80未満	4,910	137	2.8%	1,056	42	4.0%
診察		所見あり	4,910	111	2.3%	1,056	32	3.0%
新入生編入生心電図検査		所見あり	1,433	77	5.4%			
身体計測		BMI 25以上	4,908	387	7.9%	1,056	157	14.9%
		BMI 16以下	4,908	38	0.8%	1,056	4	0.4%

検査項目		再検基準	研究生			計		
			検査項目受診数	有所見数	有所見率	検査項目受診数	有所見数	有所見率
胸部X線		所見あり	11	0	0.0%	5,966	159	2.7%
尿検査	蛋白	(+)以上	11	0	0.0%	5,963	118	2.0%
	潜血	(+)以上	11	0	0.0%	5,963	52	0.9%
	尿糖	(+)以上	11	0	0.0%	5,963	17	0.3%
血圧		最高血圧140以上、最低血圧90以上 最高血圧80未満	11	1	9.1%	5,977	180	3.0%
診察		所見あり	11	1	9.1%	5,977	144	2.4%
新入生編入生心電図検査		所見あり				1,433	77	5.4%
身体計測		BMI 25以上	11	0	0.0%	5,975	544	9.1%
		BMI 16以下	11	0	0.0%	5,975	42	0.7%

6）胸部Ｘ線撮影

学部・大学院名		定期健康診断受診者数	胸部Ｘ線受診者数	受診率	異常なし	所見あり	有所見率
学部	教育学部	1,068	1,067	99.9%	1,030	37	3.5%
	地域科学部	415	415	100.0%	399	16	3.9%
	医学部	658	658	100.0%	645	13	2.0%
	工学部（昼）	1,950	1,947	99.8%	1,905	42	2.2%
	工学部（夜）	35	34	97.1%	33	1	2.9%
	応用生物科学部（農学部含む）	781	781	100.0%	752	29	3.7%
	学部計	**4,907**	**4,902**	**99.9%**	**4,764**	**138**	**2.8%**
大学院	教育学研究科	104	104	100.0%	101	3	2.9%
	地域科学研究科	23	23	100.0%	23	0	0.0%
	医学系研究科M	28	28	100.0%	28	0	0.0%
	医学系研究科D	19	19	100.0%	19	0	0.0%
	医学系研究科	46	45	97.8%	44	1	2.2%
	医学系研究科（看護学）	9	8	88.9%	7	1	12.5%
	工学研究科M	542	542	100.0%	537	5	0.9%
	工学研究科D	25	25	100.0%	25	0	0.0%
	応用生物科学研究科	99	99	100.0%	95	4	4.0%
	農学研究科	70	70	100.0%	65	5	7.1%
	連合農学研究科	53	53	100.0%	52	1	1.9%
	連合獣医学研究科	29	29	100.0%	28	1	3.4%
	連合創薬医療情報研究科	8	8	100.0%	8	0	0.0%
	大学院計	**1,055**	**1,053**	**99.8%**	**1,032**	**21**	**2.0%**
研究生		**11**	**11**	**100.0%**	**11**	**0**	**0.0%**
総計		**5,973**	**5,966**	**99.9%**	**5,807**	**159**	**2.7%**

所見の内容

判定	人数	所見
B：支障なし（経過観察）	121名	脊椎後･側弯症（100名）、右上肺野奇静脈葉（４名）、胸骨縦切開術後、右大動脈右側大動脈弓、右肋骨奇形・変形、心陰影右胸心、右下肺野線状・索状影、右下肺野造影剤残留、右胸膜癒着、右上肺野ブラまたは嚢胞影、左その他気胸術後、左上肺野線状・索状影、左胸膜癒着、左上肺野線状・索状影、大動脈弓部の突出
C：要再検査	21名	左胸膜癒着（３名）、左上肺野線状・索状影（３名）、左上肺野硬化像（２名）、その他胸骨縦切開術後、右胸膜癒着、右上肺野ブラまたは嚢胞影、右上肺野硬化像、右中肺野孤立性結節影、右肺尖ブラまたは嚢胞影、右肺門肺門部腫大、左肺尖硬化像、縦隔拡大、縦隔偏位、心陰影拡大、両側上肺野ブラまたは嚢胞影、両側上肺野硬化像
D１：要治療	１名	左胸膜気胸
D２：要精密検査	16名	右上肺野線状・索状影（３名）、左上肺野線状・索状影（２名）、右下肺野限局性浸潤影、右下肺野線状・索状影、右中肺野線状・索状影、右肺門限局性浸潤影、右肺門肺門部腫大、左下肺野限局性浸潤影、左下肺野線状・索状影、左中肺野限局性浸潤影、左中肺野孤立性結節影、両側上肺野線状･索状影

＊　間接撮影を実施し、Ｄ１、Ｄ２判定の17名については、医療機関へ紹介した。
　　結核の発生はなかった。

7）尿検査

①　尿蛋白

学部・大学院名		受診者数	(−)	(±)	(+)	(2+)	(3+)	有所見者数	有所見率
学部	教育学部	1,067	997	46	15	9		24	2.2%
	地域科学部	412	385	20	5	1	1	7	1.7%
	医学部	658	582	67	6	3		9	1.4%
	工学部（昼）	1,945	1,744	150	37	12	2	51	2.6%
	工学部（夜）	35	35					0	0.0%
	応用生物科学部（農学部含む）	779	728	39	10	2		12	1.5%
	学部計	**4,896**	**4,471**	**322**	**73**	**27**	**3**	**103**	**2.1%**
大学院	教育学研究科	104	94	8	2			2	1.9%
	地域科学研究科	23	20	2	1			1	4.3%
	医学系研究科M	28	27	1				0	0.0%
	医学系研究科D	19	19					0	0.0%
	医学系研究科	47	45	2				0	0.0%
	医学系研究科（看護学）	9	9					0	0.0%
	工学研究科M	542	504	29	8	1		9	1.7%
	工学研究科D	25	24			1		1	4.0%
	応用生物科学研究科	99	91	6	2			2	2.0%
	農学研究科	70	69	1				0	0.0%
	連合農学研究科	53	52	1				0	0.0%
	連合獣医学研究科	29	28	1				0	0.0%
	連合創薬医療情報研究科	8	7	1				0	0.0%
	大学院計	**1,056**	**989**	**52**	**13**	**2**	**0**	**15**	**1.4%**
研究生		**11**	**11**					**0**	**0.0%**
総計		**5,963**	**5,471**	**374**	**86**	**29**	**3**	**118**	**2.0%**

②　尿潜血

学部・大学院名		受診者数	(−)	(±)	(+)	(2+)	(3+)	生理中	有所見者数	有所見率
学部	教育学部	1,067	958	26	8	5	2	68	15	1.4%
	地域科学部	412	381	12	1	2		16	3	0.7%
	医学部	658	606	19		1	1	31	2	0.3%
	工学部（昼）	1,945	1,888	19	5	4	5	24	14	0.7%
	工学部（夜）	35	35						0	0.0%
	応用生物科学部（農学部含む）	779	711	22	1		3	42	4	0.5%
	学部計	**4,896**	**4,579**	**98**	**15**	**12**	**11**	**181**	**38**	**0.8%**
大学院	教育学研究科	104	92	7	1	1		3	2	1.9%
	地域科学研究科	23	18	1				4	0	0.0%
	医学系研究科M	28	28						0	0.0%
	医学系研究科D	19	18		1				1	5.3%
	医学系研究科	47	46		1				1	2.1%
	医学系研究科（看護学）	9	8	1					0	0.0%
	工学研究科M	542	514	11	5	2	1	9	8	1.5%
	工学研究科D	25	24					1	0	0.0%
	応用生物科学研究科	99	92	2		2		3	2	2.0%
	農学研究科	70	65	3				2	0	0.0%
	連合農学研究科	53	50					3	0	0.0%
	連合獣医学研究科	29	27	1				1	0	0.0%
	連合創薬医療情報研究科	8	8						0	0.0%
	大学院計	**1,056**	**990**	**26**	**8**	**5**	**1**	**26**	**14**	**1.3%**
研究生		**11**	**11**						**0**	**0.0%**
総計		**5,963**	**5,580**	**124**	**23**	**17**	**12**	**207**	**52**	**0.9%**

③　尿糖

学部・大学院名		受診者数	(−)	(+)	(2+)	(3+)	(4+)	有所見者数	有所見率
学部	教育学部	1,067	1,065	1			1	2	0.2%
	地域科学部	412	411			1		1	0.2%
	医学部	658	658					0	0.0%
	工学部（昼）	1,945	1,943		2			2	0.1%
	工学部（夜）	35	35					0	0.0%
	応用生物科学部（農学部含む）	779	776	3				3	0.4%
	学部計	**4,896**	**4,888**	**4**	**2**	**1**	**1**	**8**	**0.2%**
大学院	教育学研究科	104	102	1	1			2	1.9%
	地域科学研究科	23	23					0	0.0%
	医学系研究科M	28	28					0	0.0%
	医学系研究科D	19	19					0	0.0%
	医学系研究科	47	46	1				1	2.1%
	医学系研究科（看護学）	9	9					0	0.0%
	工学研究科M	542	537	2		3		5	0.9%
	工学研究科D	25	25					0	0.0%
	応用生物科学研究科	99	99					0	0.0%
	農学研究科	70	70					0	0.0%
	連合農学研究科	53	52				1	1	1.9%
	連合獣医学研究科	29	29					0	0.0%
	連合創薬医療情報研究科	8	8					0	0.0%
	大学院計	**1,056**	**1,047**	**4**	**1**	**3**	**1**	**9**	**0.9%**
研究生		**11**	**11**					**0**	**0.0%**
総計		**5,963**	**5,946**	**8**	**3**	**4**	**2**	**17**	**0.3%**

尿検査

尿検査は事前に採尿キットを配布して検査を実施した。

尿蛋白はスクリーニング基準を（+）以上とした。有所見者は118名（2.0%）であった。

尿潜血はスクリーニング基準を（+）以上とした。有所見者は52名（0.9%）であった。

尿糖はスクリーニング基準を（+）以上とした。有所見者は17名（0.3%）であった。

8）血圧測定

学部・大学院名		受診者数	最高血圧140mmHg以上 最低血圧90mmHg以上	最高血圧80mmHg未満	有所見者数	有所見率
学部	教育学部	1,069	14	9	23	2.2%
	地域科学部	415	7	7	14	3.4%
	医学部	659	8	10	18	2.7%
	工学部（昼）	1,950	49	4	53	2.7%
	工学部（夜）	35	3		3	8.6%
	応用生物科学部（農学部含む）	782	18	8	26	3.3%
	学部計	**4,910**	**99**	**38**	**137**	**2.8%**
大学院	教育学研究科	104	4	2	6	5.8%
	地域科学研究科	23		1	1	4.3%
	医学系研究科M	28	1		1	3.6%
	医学系研究科D	19			0	0.0%
	医学系研究科	47	1		1	2.1%
	医学系研究科（看護学）	9			0	0.0%
	工学研究科M	542	18	2	20	3.7%
	工学研究科D	25	1		1	4.0%
	応用生物科学研究科	99	3	3	6	6.1%
	農学研究科	70	4		4	5.7%
	連合農学研究科	53		1	1	1.9%
	連合獣医学研究科	29			0	0.0%
	連合創薬医療情報研究科	8	1		1	12.5%
	大学院計	**1,056**	**33**	**9**	**42**	**4.0%**
研究生		**11**	**1**		**1**	**9.1%**
総計		**5,977**	**133**	**47**	**180**	**3.0%**

9）内科診察

学部・大学院名		受診者数	所見なし	所見あり	有所見率	所見内容の内訳									
						結膜蒼白	呼吸音の異常	口腔の異常	甲状腺腫	四肢関節の異常	心音の異常	神経系異常	皮膚の異常	脈拍の異常	その他の所見
学部	教育学部	1,069	1,042	27	2.5%	1			9	1	4		7	3	2
	地域科学部	415	413	2	0.5%	1							1		
	医学部	659	649	10	1.5%	2		1	1	1			3	2	
	工学部（昼）	1,950	1,894	56	2.9%		1	2	5		7		31	5	5
	工学部（夜）	35	35	0	0.0%										
	応用生物科学部（農学部含む）	782	766	16	2.0%				4		1		9	1	1
	学部計	**4,910**	**4,799**	**111**	**2.3%**	**4**	**1**	**3**	**19**	**2**	**12**	**0**	**51**	**11**	**8**
大学院	教育学研究科	104	102	2	1.9%				1				1		
	地域科学研究科	23	23	0	0.0%										
	医学系研究科M	28	28	0	0.0%										
	医学系研究科D	19	18	1	5.3%								1		
	医学系研究科	47	46	1	2.1%					1					
	医学系研究科（看護学）	9	8	1	11.1%	1									
	工学研究科M	542	525	17	3.1%	3			2			1	8	2	1
	工学研究科D	25	25	0	0.0%										
	応用生物科学研究科	99	98	1	1.0%								1		
	農学研究科	70	66	4	5.7%	1		1	1				1		
	連合農学研究科	53	50	3	5.7%	1	1						1		
	連合獣医学研究科	29	27	2	6.9%								1		1
	連合創薬医療情報研究科	8	8	0	0.0%										
	大学院計	**1,056**	**1,024**	**32**	**3.0%**	**6**	**1**	**1**	**4**	**1**	**0**	**1**	**14**	**2**	**2**
研究生		**11**	**10**	**1**	**9.1%**						**1**				
総計		**5,977**	**5,833**	**144**	**2.4%**	**10**	**2**	**4**	**23**	**3**	**13**	**1**	**65**	**13**	**10**

内科診察

内科診察は、委託機関の医師による一次診察を実施し、表中の所見内容内訳の10項目に再診察の指示があった学生の144名（2.4%）を有所見者とした。

10）新入生・編入生心電図検査

学部名	受診者数	異常なし	所見あり	有所見率
教育学部	284	277	7	2.5%
地域科学部	128	125	3	2.3%
医学部	186	175	11	5.9%
工学部（昼）	625	576	49	7.8%
工学部（夜）	1	1		0.0%
応用生物科学部	209	202	7	3.3%
総計	**1,433**	**1,356**	**77**	**5.4%**

所見あり77名の内訳

所見	B	C	D２	計
Ⅰ度房室ブロック（0.22sec ≦ PQ）		3		3
Q、QS型			1	1
WPW 症候群			5	5
陰性T（V１、V２、Ⅲを除く）		1	1	2
右胸心	1			1
完全右脚ブロック		4		4
散発性上室性期外収縮（２回未満）		4		4
散発性心室性期外収縮（２回未満）		4		4
著しい洞性頻脈（HR ≧ 120）		3		3
洞性徐脈（50 ＞ HR ≧ 40）	9			9
洞性頻脈（120 ＞ HR ≧ 100）	31			31
洞性不整脈	2			2
頻発性上室性期外収縮（２回以上）			2	2
頻発性心室性期外収縮（２回以上）			2	2
不完全右脚ブロック	4			4
計	**47**	**19**	**11**	**77**

心電図検査

心電図検査の有所見者は77名（5.4%）であった。C、D２判定の学生には保健管理センター医師から個別に結果説明を行い、必要な学生には医療機関での精密検査を依頼した。

11）身体計測

① 肥満（BMI 25以上）

性別	学部・大学院名		受診者数	肥満度 1度	肥満度 2度	肥満度 3度	肥満度 4度	有所見者数	肥満 有所見率
女性	学部	教育学部	707	27	1	2		30	4.2%
		地域科学部	271	9	3	1		13	4.8%
		医学部	407	14	2			16	3.9%
		工学部（昼）	268	16	2	1		19	7.1%
		工学部（夜）	3	1				1	33.3%
		応用生物科学部（農学部含む）	436	13	1	1		15	3.4%
		学部計	**2,092**	**80**	**9**	**5**	**0**	**94**	**4.5%**
	大学院	教育学研究科	52	1				1	1.9%
		地域科学研究科	12	1	1			2	16.7%
		医学系研究科M	3					0	0.0%
		医学系研究科D	3					0	0.0%
		医学系研究科	8	1				1	12.5%
		医学系研究科（看護学）	8					0	0.0%
		工学研究科M	42		1			1	2.4%
		工学研究科D	4					0	0.0%
		応用生物科学研究科	41	1	1			2	4.9%
		農学研究科	24	5				5	20.8%
		連合農学研究科	18	2	1			3	16.7%
		連合獣医学研究科	10					0	0.0%
		連合創薬医療情報研究科	2					0	0.0%
		大学院計	**227**	**11**	**4**	**0**	**0**	**15**	**6.6%**
	研究生		**7**					**0**	**0.0%**
	女性計		**2,326**	**91**	**13**	**5**	**0**	**109**	**4.7%**
男性	学部	教育学部	362	46	7	1	1	55	15.2%
		地域科学部	144	15	2			17	11.8%
		医学部	252	21	3			24	9.5%
		工学部（昼）	1,680	127	29	5		161	9.6%
		工学部（夜）	32	6	1		1	8	25.0%
		応用生物科学部（農学部含む）	346	22	5	1		28	8.1%
		学部計	**2,816**	**237**	**47**	**7**	**2**	**293**	**10.4%**
	大学院	教育学研究科	52	9	4			13	25.0%
		地域科学研究科	11	3				3	27.3%
		医学系研究科M	25	2	1			3	12.0%
		医学系研究科D	16	2				2	12.5%
		医学系研究科	39	9	2	1		12	30.8%
		医学系研究科（看護学）	1					0	0.0%
		工学研究科M	500	58	10			68	13.6%
		工学研究科D	21	5				5	23.8%
		応用生物科学研究科	58	9				9	15.5%
		農学研究科	46	6	1			7	15.2%
		連合農学研究科	35	12	1			13	37.1%
		連合獣医学研究科	19	5	1			6	31.6%
		連合創薬医療情報研究科	6		1			1	16.7%
		大学院計	**829**	**120**	**21**	**1**	**0**	**142**	**17.1%**
	研究生		**4**					**0**	**0.0%**
	男性計		**3,649**	**357**	**68**	**8**	**2**	**435**	**11.9%**
学部計			**4,908**	**317**	**56**	**12**	**2**	**387**	**7.9%**
大学院計			**1,056**	**131**	**25**	**1**	**0**	**157**	**14.9%**
総計			**5,975**	**448**	**81**	**13**	**2**	**544**	**9.1%**

② やせ（BMI 16以下）

性別	学部・大学院名		受診者数	やせ		有所見者数	やせ有所見率
				16.0～18.5	16.0以下		
女性	学部	教育学部	707	122	5	5	0.7%
		地域科学部	271	56	2	2	0.7%
		医学部	407	69	7	7	1.7%
		工学部（昼）	268	64	2	2	0.7%
		工学部（夜）	3			0	0.0%
		応用生物科学部（農学部含む）	436	87	8	8	1.8%
		学部計	**2,092**	**398**	**24**	**24**	**1.1%**
	大学院	教育学研究科	52	9		0	0.0%
		地域科学研究科	12	2		0	0.0%
		医学系研究科M	3			0	0.0%
		医学系研究科D	3	1		0	0.0%
		医学系研究科	8	1		0	0.0%
		医学系研究科（看護学）	8	2		0	0.0%
		工学研究科M	42	13	1	1	2.4%
		工学研究科D	4	1		0	0.0%
		応用生物科学研究科	41	9		0	0.0%
		農学研究科	24	7		0	0.0%
		連合農学研究科	18	2		0	0.0%
		連合獣医学研究科	10	3		0	0.0%
		連合創薬医療情報研究科	2	1		0	0.0%
		大学院計	**227**	**51**	**1**	**1**	**0.4%**
	研究生		**7**	**1**		**0**	**0.0%**
	女性計		**2,326**	**450**	**25**	**25**	**1.1%**
男性	学部	教育学部	362	27	1	1	0.3%
		地域科学部	144	15		0	0.0%
		医学部	252	28	1	1	0.4%
		工学部（昼）	1,680	264	9	9	0.5%
		工学部（夜）	32	2		0	0.0%
		応用生物科学部（農学部含む）	346	45	3	3	0.9%
		学部計	**2,816**	**381**	**14**	**14**	**0.5%**
	大学院	教育学研究科	52	3		0	0.0%
		地域科学研究科	11	1		0	0.0%
		医学系研究科M	25	1		0	0.0%
		医学系研究科D	16	1		0	0.0%
		医学系研究科	39	1		0	0.0%
		医学系研究科（看護学）	1			0	0.0%
		工学研究科M	500	53	2	2	0.4%
		工学研究科D	21	1		0	0.0%
		応用生物科学研究科	58	3		0	0.0%
		農学研究科	46	2		0	0.0%
		連合農学研究科	35	3		0	0.0%
		連合獣医学研究科	19	1	1	1	5.3%
		連合創薬医療情報研究科	6			0	0.0%
		大学院計	**829**	**70**	**3**	**3**	**0.4%**
	研究生		**4**			**0**	**0.0%**
	男性計		**3,649**	**451**	**17**	**17**	**0.5%**
学部計			**4,908**	**779**	**38**	**38**	**0.8%**
大学院計			**1,056**	**121**	**4**	**4**	**0.4%**
総計			**5,975**	**901**	**42**	**42**	**0.7%**

12）学生の健康診断問診票・生活習慣に関するアンケート結果

（有効数を集計　各カテゴリーの欠損値は除く）

	男	女	合　計
健康状態について			
今まで何か病気をしたことがある　（男 3,626人　女 2,289人）	20.0%	18.2%	19.3%
現在治療中・経過観察中の病気がある　（男 3,627人　女 2,290人）	9.5%	11.0%	10.0%
薬物アレルギーがある　（男 3,628人　女 2,291人）	1.9%	2.4%	2.1%
食物アレルギーがある　（男 3,626人　女 2,291人）	4.2%	5.4%	4.7%
月経について			
周期　（2,282人）　24～38日		84.8%	
月経前症状あり　（2,284人）		25.6%	
月経時症状あり　（2,283人）		40.4%	
月経症状が日常生活に影響する　（2,264人）		13.5%	
家族歴について			
高血圧　（5,911人）			33.2%
高脂血症　（5,911人）			9.7%
糖尿病　（5,913人）			23.1%
肥満　（5,914人）			15.5%
住宅			
自宅	54.1%	61.1%	56.8%
食事			
朝食を毎日食べる　（男 3,625人　女 2,291人）	53.0%	71.5%	60.1%
野菜を毎日食べる　（男 3,625人　女 2,290人）	52.2%	71.0%	59.5%
自己評価			
運動不足である　（男 3,628人　女 2,291人）	64.4%	74.9%	68.4%
食生活が不規則である　（男 3,626人　女 2,291人）	40.6%	32.5%	37.5%
食事バランスが偏っている　（男 3,627人　女 2,291人）	37.6%	32.9%	35.7%

3．留学生健康診断

⑴　目　　的　　留学生の健康の保持増進を支援し、修学が円滑に行えるよう健康診断を行う。

⑵　対 象 者　　・平成20年入学式以降に来日した学生
・平成20年度定期健康診断未受診者
・平成20年度大学院入学者で、定期健康診断時血液検査を受けていない学生

⑶　実施日時　　平成20年10月27日（月）　9：00～11：10
平成20年10月31日（金）　9：00～11：00

⑷　健診内容

身体計測	身長・体重・体脂肪率・体格指数（BMI）
血圧測定	
視力測定	
尿検査	蛋白・糖・潜血
聴力検査	会話聴力
内科診察	
胸部レントゲン検査	
心電図	
血液検査	血液一般・肝機能（GOT　GPT　γ-GPT）
	脂質（T-cho　TG　HDL）糖代謝（血糖　インスリン　HOMR-R）
	尿酸

※平成20年度大学院入学者で、定期健康診断時血液検査を受けていない学生は血液検査のみ実施

⑸　受診率

受診対象者	受診者	受診率
78	50	64.1

※内、12名は血液検査のみ実施

⑹　健診結果

判定	総合判定	身体計測	血圧	視力検査	尿検査	聴力検査	内科診察	胸部X-P	心電図	血液検査			
										肝機能	脂質	糖代謝	尿酸
A	10	26	38	32	36	38	38	36	35	42	35	33	47
B	6	6						1	2	3		11	2
C	17	6		6	2			1	1		11	5	
D 2	5									5	4	1	1
計	38	38	38	38	38	38	38	38	38	50	50	50	50

⑺　事後措置

受診者全員に健診結果の個別説明を実施した。

有所見者には、保健管理センターでの血圧、尿、身体計測の再検査、医療機関への紹介、保健指導を実施した。

４．特殊健康診断

目　　的　　学生の修学上の安全管理を計るため、労働安全衛生法に準拠した健康診断を実施する。
RI 取扱者は、放射線障害防止法による。

対 象 者　　有機溶剤、特定化学物質、電離放射線（RI・X 線バッジ使用者）病原体の取り扱いを開始する者

実施日時　　前期　　平成20年４月30日（水）　９：00～15：00
　　平成20年５月１日（木）　９：00～15：00
　　平成20年５月２日（金）　９：00～15：00
　　後期　　平成20年10月27日（月）　13：00～16：00
　　平成20年10月31日（金）　13：00～16：00

１）前期特殊健康診断

⑴　学部別登録者数と受診者数

学部	登録者数 (人)	受診者数（人）	健診日受診	期間外受診	受診率（%）
教育学部	26	26	26		100.0
地域科学部	19	10	10		52.6
医学部医学科	2	1	1		50.0
工学部（昼）	196	129	126	3	65.8
工学部（夜）	7	4	4		57.1
応用生物科学部	132	126	126		95.5
学部計	**382**	**296**	**293**	**3**	**77.5**
教育研究科	7	6	6		85.7
医学系研究科	67	44	44		65.7
工学研究科	183	156	151	5	85.2
応用生物科学研究科	33	32	32		97.0
農学研究科	30	27	27		90.0
連合農学研究科	19	15	15		78.9
連合獣医学研究科	19	15	15		78.9
連合創薬情報研究科	7	6	6		85.7
大学院計	**365**	**301**	**296**	**5**	**82.5**
総計	**747**	**597**	**589**	**8**	**79.9**

⑵　結果

有機判定

判定	人数
A	265
A－1	192
A－2	4
B①	2
B①－1	4

病原体判定

判定	人数
A	43

電離判定

判定	人数
A	258
B－1	1

特化物判定

物質名	判定	人数	物質名	判定	人数	物質名	判定	人数	物質名	判定	人数
ジアニシジン	A	1	シアン	A	15	アンモニア	A	75	特－ル	A	65
アクリルアミド	A	151	重クロム酸	A	18	塩化水素	A	97	特－ヲ	A	11
	B①	1	弗化水素	A	11		B①	1			
アクリロニトリル	A	3	ベンゼン	A	21	硝酸	A	49			
塩素	A	8		B①	1	フェノール	A	122			
オーラミン	A	1	マンガン	A	10		B①	1			
カドミウム	A	15	沃化メチル	A	50	ホスゲン	A	11			
クロム	A	34	硫化水素	A	11	ホルムアルデヒド	A	63			
五酸化バナジウム	A	1	硫酸ジメチル	A	5	硫酸	A	121			
							B①	1			

※有機判定「A－２」の４名については、代謝物の再検査の勧奨、当該学生の指導者に対して医師より報告、指導。

2）後期特殊健康診断

⑴　学部別登録者数、受診者数

学　部	登録者数	受診者数	未受診者数	受診率
教育学部	22	21	1	95.5%
工学部（昼）	21	20	1	95.2%
工学部（夜）	2	2	0	100.0%
応用生物科学部	5	5	0	100.0%
学部計	**50**	**48**	**2**	**96.0%**
教育学研究科	3	3	0	100.0%
医学系研究科	21	12	9	57.1%
工学研究科	19	19	0	100.0%
連合創薬医療情報研究科	2	2	0	100.0%
大学院計	**45**	**36**	**9**	**80.0%**
総計	**95**	**84**	**11**	**88.4%**

⑵　結果

有機判定

判　定	人数
A	12
A－1	28

病原体判定

判　定	人数
A	1

電離判定

判　定	人数
A	34

特化物判定

物質名	判定	人数	物質名	判定	人数	物質名	判定	人数
アクリルアミド	A	4	塩化水素	A	5	特－ル	A	17
クロム	A	11	硝酸	A	4			
シアン化カリウム	A	11	フェノール	A	2			
重クロム酸	A	11	ホルムアルデヒド	A	3			
ベンゼン	A	5	硫酸	A	4			

＜参考＞

管理区分

管理 A	異常なし（自他覚症状及び異常所見はほとんど認められない）
管理 B	管理区分Cには該当しないが、当該業務による異常の疑いがある
B①	要経過観察
B②	要再検
B③	要精検
管理 C	要治療・就業禁止
管理 T	疾病の治療
管理 R	疾病の療養・就業制限

※有機溶剤健診での尿中代謝物分布は量が多いほど暴露量が多いことを示している。
　管理区分（A、B、C）の後の数字（1、2、3）は分布区分を表す。

5．新入学生・新３年生健康調査（面接）フォローアップ状況

１）平成20年度入学手続時個別面接

期日・参加対象者

平成20年２月14日（木）～15日（金）

３年次編入学、３年次学士編入学、推薦入学ⅠⅡ、社会人、帰国子女、特殊教育特別専攻科

平成20年３月14日（金）～15日（土）

一般選抜（前期）＜教育、地域科学、医学、工学、応用生物学＞、農業別科

平成20年３月27日（木）

一般選抜（後期）＜教育、地域科学、医学、工学、応用生物学＞、

面接実施数　1,393名（入学者数1,404名）

入学後フォローアップ状況

入学手続時の健康調査面接で相談希望のあった者、UPI で高得点だった者、「死にたくなる」や「自分の過去や家族は不幸である」など深刻な項目にチェックした者、不調の記述や面接者のコメントから総合的に判断しフォローアップを要すると判断された者、計41名を抽出し、手紙や電話による呼び出しを行い、再面接を実施した。

	保健管理センター	学生ラウンジ
再面接実施者	６名	７名
内、複数回面接を行った者	５名	１名

２）新３年生健康調査（GHQ、WHOQOL-26）フォローアップ状況

保健管理センターでは、平成15年度より新３年生に対して UPI 調査を行っている。これは大学生活前半を終えた時期における、心身の不調を訴える学生をスクリーニングすることを目的としている。平成20年度は、GHQ-60、WHOQOL-26を実施し、867名から回答を得た。そこから定期健康診断時に相談希望のあった者、GHQ で高得点だった者、その他定期健康診断時の不調の記述などから総合的に判断しフォローアップを要すると判断された者、112名に対して呼び出しを行い、面接を実施した。

	保健管理センター	学生ラウンジ
再面接実施者	19名	５名
複数回面接を行った者	４名	２名

6．国家資格授与認可のための医療面接

国家資格授与手続きのため精神科医師による診断の必要な学生に面接を行い、申請用の診断書を発行した。

日　　時　　平成21年２月、３月

場　　所　　保健管理センター

発行者数　　応用生物科学部　獣医学科　27名

　　医学部　医学科　　62名

7．各種行事（岐大祭・入試等）救護

⑴「第60回岐阜大学祭」にかかわる救護

	日　時	傷病者	状　　況	対　　応
1	11月１日	３年男	棘がささった	創部処置
2	11月２日	２年男	テント設営中、指を挟んだ。爪内出血。	創部処置
3	11月２日	１年男	発熱（37.7℃）	帰宅勧めた
4	11月３日	１年女	生理痛にて投薬希望	投薬
5	11月３日	学外者（５歳児）	車のドアで指を挟んだ	湿布処置
6	11月３日	学外者（４歳児）	棘がささった	創部処置
7	11月４日	１年男	フットサルで顔面を蹴られて口唇切創、門歯ぐらつく	大学病院へ紹介
8	11月４日	１年女	虫刺され	創部処置
9	11月４日	２年男	スポーツ大会（ドッジボール）で人とぶつかり、顔に擦過傷	創部処置

⑵　平成21年度 大学入試センター試験

平成21年１月17日

担当学部	試験場	性別	時間	主　訴	応急措置内容
教育学部	教育学部分室（全学共通教育講義棟）	男	9:46	腹痛	休養室へ往診。新三共胃腸薬内服、会場に戻る。
工学部	工学部分室	女	11:20	前日にインフルエンザとの診断あり	別室受験。休憩時間、保健管理センターにて待機。
応用生物科学部	県立斐太高校試験場	男	9:10	下痢	ビオフェルミン３錠内服、会場に戻る。
応用生物科学部	県立斐太高校試験場	男	11:48	気分不良 軽度嘔気	救護室で休養、12:50気分よくなり会場に戻る。
応用生物科学部	県立斐太高校試験場	女	13:08	右手背痛	イドメシンコーワパップを貼付。処置後、会場に戻る。

合計人数　５名

平成21年１月18日

担当学部	試験場	性別	時間	主訴	応急措置内容
工学部	工学部分室	男	14:02	腹痛、下痢	休養室へ往診。ビオフェルミン３錠経口内服、会場に戻る。

合計人数　１名

⑶　平成21年度 入学者選抜個別学力検査（前期日程）

平成21年２月25日

担当学部	試験場	性別	時間	主訴	応急措置内容
医学部 医学科	全学共通教育 講義棟		9:00頃	試験の数日前、交通事故に遭いけがをしたため、別室受験希望。試験開始直後に（緊張のためかヒステリックになり）奇声を発した。	試験会場スタッフが、保護者、本人に了解を取り、試験中断、救急車にて岐阜大学付属病院に搬送。
工学部	工学部	男	10:05	嘔気	薬内服し、試験会場へ戻る。

合計人数　２名

平成21年２月26日

担当学部	試験場	性別	時間	主訴	応急措置内容
教育学部	実技試験				

合計人数　０名

⑷　平成21年度 入学者選抜個別学力検査（後期日程）

平成21年３月12日

担当学部	性別	時間	主訴	応急措置内容
教育学部	女	11:10	嘔気	４日前から風邪。昨夜、39℃熱があった。２日前から薬を飲んでいる。朝食は普通に食べた。医師指示にてナウゼリン１錠服用。救護室で少し休養の後、試験会場にもどった。

合計人数　１名

⑸　平成20年度 学位記授与式救護

平成21年３月25日

担当学部	性別	時間	主訴	処置・経過
教育学部	男	14:45	急性アルコール中毒 頭部外傷	卒業式後飲酒。国際会議場から大学まで車で移動、降車時に車から転げ落ちるようにして、地面で頭を強打した。酩酊状態。救急車にて平野病院に搬送。

合計人数　１名

Ⅱ　平成20年度 保健管理センター
年間主要業務報告

１．年間業務報告（関係行事）

２．保健管理センター利用状況

３．禁煙支援状況

４．健康診断証明書発行状況

５．学生相談室利用状況

Ⅱ　平成20年度　保健管理センター年間主要業務報告

1．年間業務報告（関係行事）

月	日	業　務　内　容	その他の行事及び業務
通年		一般診療 メンタル診療 臨床心理士相談 学生ラウンジ相談 健康相談 禁煙相談 歯科相談（月２回）	
4	7 1・2・3・4 8・9・14・16・17・18・22・23・30 1～30 30	入学式救護 新入生定期健康診断 定期健康診断事後（結果説明） 定期健康診断事後（血圧・尿・視力再検査） 前期特殊健康診断	
5	1・2 2・9・12・13・14・15・20・27・28・29・30 1～31	前期特殊健康診断 定期健康診断事後（結果説明） 定期健康診断事後（血圧・尿・視力再検査）	
6	5・12・19・26 17・18・24・25 2・3・6・9・11・12・13・16・17・18・23～27 1～30	看護学生実習指導 前期特殊健康診断事後 定期健康診断事後（結果説明） 定期健康診断事後（血圧、尿、視力再検査）	岐阜地区研究会（6/7） 岐阜県大学保健研究会（6/28）
7	1・7・8・9・10・15・17 1～31 5	定期健康診断事後（結果説明） 定期健康診断事後（血圧、尿、視力再検査） 平成21年度工学部３年次編入学試験救護	全国大学保健管理協会東海・北陸地方部会 第35回保健管理担当職研究会（当番大学）（7/23）
8		オープンキャンパス救護	
9			
10	27・31	後期特殊健康診断 留学生健康診断	第45回全国大学保健管理研究会（10/29、30）
11	1・2・3・4 25・26 26・28 15	岐大祭救護 後期特殊健康診断事後 留学生健康診断事後（結果説明） 平成21年度地域科学部３年次編入学試験救護	平成20年度全国大学保健管理協会東海・北陸地方部会保健管理担当職東海地区研究会（当番大学）
12	2・3 2・5・8・9・10・11	後期特殊健康診断事後 留学生健康診断事後（結果説明）	保健管理センター運営委員会（12/12） 岐阜県大学保健研究会・岐阜地区研究会（12/6）
1	17・18	平成21年度センター入試救護 平成21年度定期健康診断準備、案内 平成21年度地域科学部・教育学部３年次編入学試験救護	
2	16・17・18・19・20・23・24 17・18	平成21年度在学生定期健康診断 平成21年度一般選抜入試（前期）救護	
3	2・3・4・5 12 18 25～31 26・30 25	平成21年度在学生定期健康診断 平成21年度一般選抜入試（後期）救護 獣医師免許申請用健康診断面接 平成21年度定期健康診断事後（血圧、尿、視力再検査） 医師免許申請用健康診断面接 学位記授与式救護	

2．保健管理センター利用状況

(1) 一般診療目的

①利用件数

20年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
応急処置・診療	256	331	273	211	36	76	263	199	188	158	89	72	2,152
健康相談	16	8	10	15	6	7	18	13	10	8	5	5	121
メンタル相談	40	40	71	42	18	18	35	25	29	35	15	16	384
学部からの依頼	3	0	5	3	0	0	3	0	1	0	0	0	15
その他	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	4
合計	315	379	361	271	60	101	319	239	228	201	109	93	2,676

②利用項目の内訳

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
A 診療	医師診察	200	252	232	152	36	74	205	157	169	131	76	69	1,753
	看護職対応	116	127	133	117	22	26	123	80	64	69	34	29	940
	証明書発行のため	0	1	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	6
	小計	316	380	366	270	59	100	329	237	234	200	110	98	2,699
B 処置	創処置	43	65	52	66	15	20	64	48	27	29	9	23	461
	投薬	203	247	185	139	30	66	197	137	153	115	72	51	1,595
	ベッド休養	17	22	21	30	7	1	21	11	13	6	7	3	159
	その他処置	5	12	6	8	1	2	5	10	4	2	1	0	56
	小計	268	346	264	243	53	89	287	206	197	152	89	77	2,271
C 検査	視力測定	10	8	2	1	0	0	1	2	5	13	1	2	45
	尿検査	0	3	0	0	0	2	1	2	2	1	1	3	15
	血圧測定	5	3	6	11	0	1	9	1	0	0	0	0	36
	心電図	3	2	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	8
	血液検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ABPM	0	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4
	身長・体重測定	0	1	2	4	1	2	1	0	0	0	0	0	11
	ライフコーダ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	体温測定	146	153	101	58	4	34	140	88	128	101	56	23	1,032
	小計	164	171	113	75	5	39	154	94	135	115	58	28	1,151
D 保健指導		32	96	59	90	7	16	30	27	18	11	7	7	400
E 医療機関紹介	紹介状発行	44	46	45	37	5	12	40	26	25	16	7	16	319
	院外処方箋発行	2	4	3	4	1	3	8	8	6	4	5	2	50
	救急車依頼	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	3
	小計	46	50	48	43	6	15	48	34	31	20	12	19	372
A＋B＋C＋D＋E 合計		826	1,043	850	721	130	259	848	598	615	498	276	229	6,893

③利用者の疾病分類別内訳

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体面	呼吸器	123	126	78	39	4	22	117	74	111	90	40	17	841
	消化器	20	23	30	17	3	7	17	18	6	13	6	11	171
	循環器	5	5	4	1	1	1	1	2	0	0	0	0	20
	内分泌・栄養	0	1	1	3	0	0	0	2	0	1	0	1	9
	内科系その他	8	6	7	19	1	5	17	12	14	5	1	5	100
	外科	27	39	35	37	4	7	34	31	7	15	2	7	245
	整形	25	45	30	27	8	13	30	19	18	13	15	11	254
	皮膚科	13	35	40	34	8	9	22	18	12	8	5	6	210
	眼科	7	11	7	8	2	3	13	5	8	2	1	6	73
	耳鼻咽喉科	9	11	7	2	0	3	4	4	2	0	8	4	54
	歯科口腔	11	5	4	9	2	3	8	5	5	4	2	4	62
	神経	2	8	6	6	0	2	2	4	4	3	4	0	41
	泌尿器	1	1	1	0	0	2	3	0	2	1	1	1	13
	婦人科	11	9	12	14	2	0	10	8	6	4	4	1	81
	その他	4	2	3	4	3	0	4	3	2	0	0	6	31
	禁煙	3	6	3	5	4	2	8	9	3	3	5	2	53
	小計	269	333	268	225	42	79	290	214	200	162	94	82	2,258
精神面	精神心理行動	35	33	67	36	17	16	31	18	26	26	12	15	332
	対人関係	0	1	2	2	0	0	3	2	2	2	1	0	15
	学業面	3	4	0	2	0	0	0	1	2	4	2	0	18
	進路	0	1	1	1	0	0	1	3	0	1	0	0	8
	経済	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	1	1	1	1	2	0	1	0	2	0	1	10
	小計	38	40	71	42	18	18	35	25	30	35	15	16	383
合計		307	373	339	267	60	97	325	239	230	197	109	98	2,641

(2) 学生健康診断事後措置（再検査）関係

①事後措置（再検査等）月別実施件数

20年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定期健診未検項目	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	1	0	5
定期健診・事後	191	204	143	64	16	4	18	5	33	7	4	129	818
特殊健診・事後	0	1	15	7	2	1	0	0	1	0	0	0	27
留学生健康診断・事後	0	0	0	0	0	0	0	7	8	2	0	0	17
UPI・事後	0	2	6	5	0	0	0	0	0	0	0	10	23
未受診者対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	191	207	166	76	19	5	19	12	42	9	5	139	890

②事後措置（再検査）実施項目の内訳

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
A 診療	医師診察	63	61	131	36	4	3	3	10	38	3	1	23	376
	看護職対応	2	1	1	1	2	1	4	0	0	0	0	1	13
	証明書発行のため	1	4	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	9
	小計	66	66	132	38	7	5	7	10	38	3	1	25	398
B 処置	創処置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	投薬	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
	ベッド休養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の処置	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	小計	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3
C 検査	視力測定	6	1	0	0	1	0	1	1	3	1	4	51	69
	尿検査	109	68	14	23	14	2	2	1	1	2	0	54	290
	血圧測定	9	7	0	13	2	0	0	2	4	2	2	18	59
	心電図検査	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	血液検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ABPM	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	身長・体重測定	1	0	1	3	1	0	10	7	22	1	1	19	66
	ライフコーダ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	119	75	15	39	17	3	12	10	27	5	3	91	416
D 保健指導		123	135	33	25	4	0	14	8	36	4	0	19	401
E 他機関への紹介状発行		18	22	47	14	3	0	2	5	10	2	1	3	127
A＋B＋C＋D＋E 合計		326	299	227	116	31	8	36	33	112	14	5	138	1,345

3．禁煙支援状況

喫煙率年次推移

医短は学部生として合計　別科は学部１年生として合計　　Ｎは有効数で計算

（%）

喫煙率	学年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
学部生 男	１年	9.4	9.1	8.1	7.0	6.9	6.1	3.8	3.3	1.0	1.0	0.5
	２年	16.5	22.3	16.5	15.7	11.8	12.5	10.5	6.0	5.8	2.5	4.0
	３年	22.9	27.9	28.0	24.5	24.9	20.9	20.8	17.3	9.9	13.0	9.9
	４年	31.9	32.7	34.4	32.2	28.3	21.0	22.6	23.7	18.1	13.3	15.1

喫煙率	学年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
学部生 女	１年	1.2	2.0	0.0	0.4	0.8	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	２年	2.5	2.7	2.0	2.0	0.9	2.3	1.5	0.4	1.0	0.0	0.2
	３年	4.5	4.3	4.8	3.8	3.0	4.0	3.9	2.0	1.8	1.0	0.8
	４年	4.8	4.8	4.9	6.4	5.3	9.5	3.4	3.4	3.6	1.1	1.2

喫煙率	学年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
学部生 全体（１－６年）	１年	5.8	5.9	4.8	4.4	4.3	4.5	2.2	2.0	0.6	0.6	0.3
	２年	8.0	13.6	9.9	9.7	7.0	8.0	6.6	3.5	3.6	1.4	2.3
	３年	14.1	17.4	18.4	15.7	15.8	14.1	13.5	10.8	6.0	7.6	5.8
	４年	21.3	22.7	23.6	23.6	20.0	17.0	15.2	15.6	12.1	8.2	9.3
	５年	17.2	17.3	18.5	9.9	8.2	6.7	7.4	4.6	10.3	2.4	1.1
	６年	22.9	31.6	20.8	15.4	10.3	6.9	13.2	7.5	6.1	8.8	3.1
学　部　計		**14.6**	**15.6**	**14.8**	**13.7**	**12.0**	**10.8**	**9.6**	**8.0**	**5.5**	**4.4**	**4.4**

喫煙人数	学年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
学部生 男	１年	42	54	58	51	49	44	27	27	8	8	4
	２年	35	116	90	101	68	75	64	37	34	16	22
	３年	81	164	201	175	184	146	143	124	54	75	64
	４年	166	271	291	292	240	168	178	206	130	96	108
	１－４年計	324	605	640	619	541	433	412	394	226	195	198

喫煙人数	学年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
学部生 女	１年	4	10	0	2	4	11	0	0	0	0	0
	２年	8	11	9	10	4	11	7	2	5	0	1
	３年	15	20	24	20	16	19	20	10	9	5	4
	４年	16	22	24	29	25	43	17	18	18	6	6
	１－４年計	43	63	57	61	49	84	44	30	32	11	11

喫煙状況回答率

		1998年		1999年		2000年		2001年		2002年		2003年		2004年		2005年		2006年		2007年		2008年	
		回答数	回答数／学生数	回答数	回答数／学生数	回答数	回答数／学生数	回答数	回答数／学生数	回答数	回答数／学生数	回答数	回答数／学生数	回答数	回答数／学生数	回答数	回答数／学生数	回答数	回答数／学生数	回答数	回答数／学生数	回答数	回答数／学生数
学部生	男	3,023	60.50%	2,778	69.1%	2,931	73.9%	3,101	78.3%	2,988	79.1%	2,916	77.9%	2,895	77.7%	2,938	79.6%	2,741	75.0%	2,837	78.6%	2,804	78.5%
	女			1,772	86.1%	1,788	86.6%	1,898	90.9%	1,996	93.7%	1,987	89.4%	2,070	89.9%	2,121	91.7%	2,140	91.9%	2,080	91.1%	2,072	92.4%
院　生	男	606	74.70%	635	70.5%	680	65.1%	711	63.4%	721	67.2%	777	68.5%	742	66.1%	777	70.3%	827	71.6%	809	85.3%	827	73.1%
	女			151	64.5%	167	58.6%	200	61.5%	175	63.2%	190	60.7%	328	99.1%	213	64.4%	252	70.4%	228	82.6%	224	68.3%
医　短	男	7		6	85.7%	6	100.0%	6	100.0%	3	100.0%												
	女	175		195	81.6%	230	97.0%	164	97.6%	85	98.8%												

禁煙補助剤援助実績

区分		総計	性別		初トライ or 再トライ		来所の契機		3月経過後の禁煙状況		
			女	男	初トライ	再トライ	自発来所	診察時に勧められて	3ヶ月後禁煙達成・継続中	再喫煙	結果不明（卒業・退学・連絡取れず）
学部	教育学部	4		4	2	2	1	3	1	2	1
	医学部	1	1		1		1				1
	工学部	12		12	4	8	9	3	2	3	7
	応用生物科学部	2		2		2	2		1	1	
大学院	医学研究科	1		1	1		1		1		
	工学研究科	2		2		2	2				2
	農学研究科	1		1	1			1			1
	連合獣医学研究科	1		1	1			1	1		
研究生		1		1	1			1			1
学部生　計		**19**	**1**	**18**	**7**	**12**	**13**	**6**	**4**	**6**	**9**
大学院生　計		**5**	**0**	**5**	**3**	**2**	**3**	**2**	**2**	**0**	**3**
総　計		**25**	**1**	**24**	**11**	**14**	**16**	**9**	**6**	**6**	**13**

相談延人数とパッチ処方枚数

処方回数	人　数	枚　数
1回目	25	192
2回目	13	97
3回目	8	60
4回目	4	32
5回目	2	16
6回目	1	8

来所動機と禁煙

来所の契機	3ヶ月後禁煙達成・継続	再喫煙	結果不明（卒業・退学・連絡取れず）	総計
診察時に勧められて	3	2	4	9
自発来所	3	4	9	16
総　計	**6**	**6**	**13**	**25**

処方回数別人数と禁煙状況

処方回数	人　数	禁煙達成者（禁煙中）		再喫煙者（不明）	
		人数	（%）	人数	（%）
相談のみ	0	0	0.0%	0	0.0%
1　回	12	3	50.0%	9	47.4%
2　回	6	2	33.3%	4	21.1%
3　回	3	0	0.0%	3	15.8%
4　回	2	0	0.0%	2	10.5%
5　回	1	0	0.0%	1	5.3%
6　回	1	1	16.7%	0	0.0%
計	**25**	**6**	**100.0%**	**19**	**100.0%**

4．健康診断証明書発行状況

① 保健管理センター窓口における年間発行枚数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学部学生・大学院生	188	127	45	50	29	12	23	9	33	47	91	190	844
研究生等	0	0	0	1	0	2	0	1	1	4	2	1	12
合計	188	127	45	51	29	14	23	10	34	51	93	191	856

② キャンパス内の自動発行機による年間発行枚数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
教育学部	44	1	2	11	14	12	28	8	5	13	13	32	183
地域科学部	200	1	0	2	4	0	4	0	0	1	17	68	297
医学部	2	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	6
工学部	319	1	5	1	2	1	6	0	0	2	28	51	416
工学部（夜間）	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
農学部	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
応用生物科学部	82	2	3	5	4	1	7	0	0	5	7	49	165
教育学研究科	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	5	7
地域科学研究科	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	12
医学研究科	8	2	0	0	0	0	2	0	0	9	18	5	44
工学研究科（前期）	361	6	5	1	5	0	1	5	1	59	28	53	525
工学研究科（後期）	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
農学研究科	39	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	40
連合創薬医療情報研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
連合獣医学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
連合農学研究科	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
応用生物科学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	3	25	25	16	69
合計	1,081	15	16	21	29	14	51	15	9	114	137	284	1,786

救急薬品等の貸出状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
申請件数	2	5	3	8	11	5	4	2	4	1	2	3	50
貸出個数	3	8	6	11	18	8	13	2	6	1	6	4	86

5．学生相談室利用状況

1）学生相談室利用数

1．保健管理センター

	学部生										大学院生						計			延面接回数
	1年		2年		3年		4年		5年以上		1年		2年		2年以上					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	
教育学		4	3	5	5	10	2	3						1			10	23	33	84
地域科学						3	1										1	3	4	18
医学（医）	1	1	1		1		1										4	1	5	11
医学（看）		1		3		3		1									0	8	8	14
工学（昼）	5	1	3		2	2	9	4	1	2			4		2	1	26	10	36	176
工学（夜）					1												1	0	1	7
応用生物科学（農学）	2	3		3		4		2	2	2		2	4	2	1	1	9	19	28	94
計	8	10	7	11	9	22	13	10	3	4	0	2	8	3	3	2	51	64	115	404

2．学生ラウンジ

	学部生										大学院生						計			延面接回数
	1年		2年		3年		4年		5年以上		1年		2年		2年以上					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	
教育学	1	2	5	6		2	2	6			1		1	2			10	18	28	82
地域科学	1	3		5	1	1											2	9	11	15
医学（医）		1															0	1	1	0
医学（看）		2	2	5										1			2	8	10	12
工学（昼）	6	2	5		13	3	9	4			3		2		1		39	9	48	200
工学（夜）							1										1	0	1	1
応用生物科学（農学）		3	1	1		1	1	2				1	2	1			4	9	13	27
計	8	13	13	17	14	7	13	12	0	0	4	1	5	4	1	0	58	54	112	337

3．学生相談室員（保健管理センター室員以外分）

	学部生										大学院生						計			延面接回数
	1年		2年		3年		4年		5年以上		1年		2年		2年以上					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	
教育学																	0	0	0	
地域科学																	0	0	0	
医学（医）																	0	0	0	
医学（看）																	0	0	0	
工学（昼）																	0	0	0	
工学（夜）																	0	0	0	
応用生物科学（農学）																	0	0	0	
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4．利用合計・対在籍生比率（1,000人あたり）

	男合計	女合計	男比率	女比率
教育学	20	41	39.8	51.1
地域科学	3	12	15.9	38.0
医学（医）	4	2	7.1	10.7
医学（看）	2	16	66.7	47.5
工学（昼）	65	19	23.4	52.8
工学（夜）	2	0	29.0	0.0
応用生物科学（農学）	13	28	18.6	44.4
計	109	118	22.6	44.8

2）受診動機

	センター	ラウンジ	相談室員
自発的	385	112	0
UPIにより	16	39	0
教官に勧められて	3	128	0
その他	0	58	0
計	404	337	0

3）初回面接時の相談内容（重複あり、報告分）

	センター	ラウンジ	相談室員
進路の悩み	7	7	0
対人関係	8	10	0
学業・勉強	73	30	0
恋愛・性	1	0	0
健康面の不安	13	0	0
心理テスト	0	0	0
家族友人についての相談	7	0	0
精神的な問題	75	32	0
その他	2	33	0

Ⅲ　研究・調査報告

１．保健管理センタースタッフの業績

保健管理センタースタッフの業績

1．教員

センター長（併）：清水　克時　　Katsutoki Shimizu
教　　授：　山本眞由美　　Mayumi Yamamoto
准　教　授：　田中　生雅　　Mika Tanaka
助　　教：　浅田　修市　　Syuichi Asada
助　　教：　佐渡　忠洋　　Tadahiro Sado

2．研究成果の発表

著書（和文）

1）青木隆明著、清水克時編．腰痛 知る診る治す　腰痛の運動療法、東京：メジカルビュー社；2008；130-155.

2）細江英夫著、清水克時編．腰痛 知る診る治す　転移性脊椎腫瘍、東京：メジカルビュー社；2008；105-115.

3）長瀬清、高塚直能、紀ノ定保臣、山本真由美．急性期病院経営における手術部マネジメント－特定機能病院手術室のケース－、平成19年度経済産業省「サービス産業人材育成事業」、2008.3.

4）山本眞由美．第７章 組織の活性化1人材管理、3トータルクオリティマネジメント（TQM）、医療マネジメント－医療の質向上のための医療経営学－（医療経営教育協議会）、日経メディカル開発、2008.4.；148-169、191-205.

5）山本眞由美．第１章健康診断について（第１節健康診断とは、第２節定期健康診断について）、第５章大学生のための病気の知識（第８節メタボリック症候群、動脈硬化症、肥満とやせ）、大学生の健康ナビ－キャンパスライフの健康管理－、岐阜県大学保健管理研究会企画、山本眞由美監修、岐阜：岐阜新聞；2009.3.29.

6）田中生雅．第４章大学生の心の健康（第２節こころの病気）、大学生の健康ナビ－キャンパスライフの健康管理－　岐阜県大学保健管理研究会企画、山本眞由美監修、岐阜：岐阜新聞；2009.3.29.

7）佐渡忠洋．第４章第１節メンタルヘルス、大学生の健康ナビ－キャンパスライフの健康管理－、岐阜県大学保健管理研究会企画、山本眞由美監修、岐阜：岐阜新聞；2009.3.29.；90-94.

総説（和文）

1）前原秀亮、清水克時．カルパインと変性性関節症、別冊整形外科〈変性性関節症－最近の知識〉 2008年；53巻：38-41.

2）松本守雄、千葉一裕、戸山芳昭、竹下克志、星地亜都司、中村耕三、有水　淳、藤林俊介、平林　茂、平野　徹、岩崎幹季、金岡恒治、川口善治、井尻幸成、前田　建、松山幸弘、三上靖夫、村上英樹、永島英樹、永田見生、中原進之介、野原　裕、岡　史朗、阪本桂造、猿橋康雄、笹生　豊、清水克時、田口敏彦、高橋　誠、田中靖久、谷　俊一、徳橋泰明、内田研

造、山本謙吾、山崎正志、横山　徹、吉田宗人、西脇祐司．胸椎後縦靱帯骨化症に対する手術成績に影響を与える因子の検討－他施設後ろ向き研究－　誌上シンポジウム　胸椎後縦靱帯骨化症の治療－最近の進歩、臨床整形外科（別刷）　2008年；43巻６号：531-538.

３）清水克時．頚椎症、OPLL の手術治療、東海・中部接骨学会誌　2008年；89号：19

原著（和文）

１）中村正生､清水克時. 腰下肢痛を伴う骨粗鬆症症例に対する日本語版Roland-Morris Disability Questionnaireを用いたQOL評価－エルカトニン製剤投与下での疼痛に関連するQOL改善についての検討－、Osteoporosis Japan（別刷）　2008年；16巻２号：207-215.

２）細江英夫、清水克時．腰下肢痛・しびれに対する手術⑤経椎間孔腰椎椎体間固定術（TLIF)、MB Orthop.　2008年；21巻１号：63-68.

３）細江英夫、清水克時、宮本敬、田中健一郎、岩井智守男、福田章二．骨粗鬆症性椎体圧潰に対する椎弓をとらえる脊椎短縮術－術後骨折と後弯－、中部整形外科災害外科学会誌　2008年；51巻：643-644.

４）細江英夫、清水克時、鈴木直樹、宮本敬、福田章二、岩井智守男．頚椎亜全摘前方固定術後の腓骨定着と内固定材料の変化－Ｘ線評価－、脊椎・脊髄神経手術手技　ベストペーパー賞　2008年；10巻１号：117-119.

５）大島康司、福田章二、清水克時、大野貴敏、西本裕、松永研吾、廣瀬善信．頚部腫瘍の1例、東海骨軟部腫瘍　2008年；20巻：15-16.

６）清水孝志、大野貴敏、大島康司、大野義幸、下川邦泰、清水克時、西本裕、篠崎昌人、浅野奈美、松永研吾、廣瀬善信．右肘軟部腫瘍の１例、東海骨軟部腫瘍　2008年；20巻：27-28.

７）大野貴敏、大島康司、清水克時、西本裕．類骨骨腫に対するCTガイド下ラジオ波焼灼術による低侵襲手術の経験、中部日本整形外科災害外科学会雑誌　2008年；51巻：913-914.

８）石丸大地、大野貴敏、小川寛恭、西本裕、清水克時．後頚部に発生したinfantile fibromatosisの一例、中部日本整形外科災害外科学会雑誌　2008年；51巻：93-94.

９）大野貴敏、大島康司、清水克時、西本裕．類骨骨腫に対するCTガイド下ラジオ波焼灼術による低侵襲手術の経験、中部日本整形外科災害外科学会雑誌　2008年；51巻：913-914.

10）山本眞由美、紀ノ定保臣、高塚直能．医療専門職のマネジメント教育におけるIT活用の可能性、新医療 2008.2；54-57.

11）山本眞由美、田中生雅、梶川幸世、御田村相模、長瀬江利、山本貴子、川島恵子、川辺敬子、武田純．歯科相談・肥満指導・学生相談等の業務ニーズのある学生におけるUPI得点の特徴について－第45回全国大学保健管理研究集会報告書－、CAMPUS HEALTH 2008.3；45：268-270.

12）田中生雅、梶川幸世、御田村相模、長瀬江利、小出浩之、武田純、山本眞由美．岐阜大学大学生メンタルヘルス相談の変遷と最近の動向－岐阜大学保健管理センターアンケート調査および学生の健康白書2005（本学結果）より－、岐阜大学医学部紀要 2008.6；55（１、２号別刷）.

13）佐渡忠洋．イメージ豊かな女子高校２年生との関わり：セラピストとしてのイニシエーショ

ン、岐阜大学心理教育相談研究 2008.7；31-40.

14）岡安伸二、下田浩欣、紀ノ定保臣、武田純、山本眞由美．インスリンの安全管理に関する電子カルテ機能の有用性と問題点、肥満と糖尿病「Chronic illness としての糖尿病の自己管理」2008.7.30；7（7）：28-35.

15）山本眞由美、川出靖彦、戸谷理英子、武田純、梅本敬夫、紀ノ定保臣．岐阜県医師会病診連携システムにおける、糖尿病病診連携サポートシステムの試作、肥満と糖尿病「Chronic illness としての糖尿病の自己管理」2008.7.30；7（7）：56-61.

16）下田浩欣、岡安伸二、紀ノ定保臣、武田純、山本眞由美．電子カルテ情報から分析する大学病院の糖尿病病棟患者の特徴分析の試行～業務を可視化する有用性について～、肥満と糖尿病「Chronic illness としての糖尿病の自己管理」2008.7.30；7（7）：89-93.

17）山本眞由美、武田純、紀ノ定保臣．糖尿病の遠隔病診連携を支援する岐阜県医師会病診連携システム構築の報告、日本遠隔医療学会雑誌 2008.10；4（2）：325-327.

18）長瀬江利、御田村相模、田中生雅、武田純、山本眞由美．大学生を対象に実施した頭痛実態調査、学校保健研究 2008.10.20；50（4）：264-269.

19）佐渡忠洋、鈴木壯．競技者の自我の強さと自我境界の検討：ロールシャッハ法による一般学生との比較から、臨床心理身体運動学研究 2008.；10（1）：1-10.

20）山本眞由美、田中生雅、佐渡忠洋、臼井るり子、高井郁恵、端元加奈子、長瀬江利、加納晃子、浅田修市、清水克時．岐阜県内の大学・短大等学生の喫煙実態調査－岐阜県大学保健管理研究会の調査結果より－、CAMPUS HEALTH 2009.2；46（1）：199-201.

21）田中生雅、佐渡忠洋、梶川幸世、清水克時、山本眞由美．大学生の精神的健康度と QOL、CAMPUS HEALTH 2009.2；46（1）：327-329.

22）佐渡忠洋、田中生雅、清水克時、山本眞由美．集団スクリーニングへのバウムテストの導入可能性－個別法と集団法の描線比較から－、CAMPUS HEALTH 2009.2；46（1）：392-394.

23）佐渡忠洋．南フロリダ大学における学生相談体制の視察報告：カウンセラー養成課程の視察報告も合わせて、岐阜大学心理教育相談室紀要 2009；8：91-100.

原著（欧文）

1）Hioki A, Miyamoto K, Hosoe H, Shimizu K. Two-staged decompression for thoracic paraparesis due to the combined ossification of the posterior longitudinal ligament and the ligamentum flavum a case report. Arch Orthop Trauma Surg. 2008; 128(2):175-177.

2）Yamamoto T, Inoue N, Miyamoto K, Sugiyama S, Nozawa S, Hosoe H, Shimizu K. Segmental wire fixation for lumbar spondylolysis associated with spina bifida occulta. Arch Orthop Trauma Surg. 2008; 128(10):1177-1182.

3）Hashimoto K, Miyamoto K, Hosoe H, Kawai G, Kikuike K, Shimokawa K, Suzuki N, Matsuo M, Kodama H, Shimizu K. Solitary fibrous tumor in the cervical spine with destructive vertebral involvement:A case report and review of the literature. Arch Orthop Trauma Surg. 2008; 128(10):1111-1116.

4）Takigami I, Itoh Y, Itokazu M, Shimizu K. Radio-opaque marker of a surgical sponge appearing as an intra-articular foreign body after total hip arthroplasty. Arch Orthop Trauma Surg. 2008;128(10):1167-1168.

5）Chi D, Miyamoto K, Hosoe H, Kawai G, Ohnishi K, Suzuki N, Sumi H, Shimizu K. Symptomatic lumbar mobile segment with spinal canal stenosis in fused spine associated with diffused idiopathic skeletal hyperostosis A case report. Spine J. 2008; 8(6):1019-1023.

6）Hioki A, Ohnishi K, Miyamoto K, Hosoe H, Shimizu K. Spondylolysis of the second lumbar vertebra treated with segmental wiring and bone grafting:a case report. Orthopaedics.2008 ;31(3):287.

7）Terabayashi N, Miyamoto K, Sasaki H, Hosoe H, Shimizu K. Multiple steroid-induced vertebral fracture with paraparesis associated with Wegener's granulomatosis treated with posterior spinal instrumentation. Journal of Neurological Sciences(Turkish).2008;25(1):#14:67 -71.

8）Hioki A, Miyamoto K, Hosoe H, Fukuta S, Shimizu K. Two-stage decompression for combined epiconus and cauda equina syndrome due to multilevel spinal canal stenosis of the thoracolumbar spine-a case report. Arch Orthop Trauma Surg. 2008;128(9):955-958.

9）Kawaguchi A, Chiba K, Tanimura Y, Motohashi T, Aoki H, Takeda T, Hayashi S, Shimizu K, Kunisada T. Isolation and characterization of Kit-independent melanocyte precursors induced in the skin of Steel factor transgenic mice. Dev Growth Differ. 2008;50(2):63-69.

10）Shinohe R, Sato M, Takemura M, Shimizu K, Koishi H, Tanaka R, Saito K, Seishima M. Cytokine profiles in mice with arthritis induced by anti-type Ⅱ collagen monoclonal antibody plus lipopolysaccharide. Japanese Journal of Clinical Chemistry. 2008;37(1):53-62.

11）Hirakawa A, Miyamoto K, Ohno Y, Hioki A, Ogawa H, Nishimoto H, Yokoi H, Shimizu K. Two-stage (posterior and anterior) surgical treatment of spinal osteomyelitis due to antypical mycobacteria and associated thoracolumbar kyphoscoliosis in a nonimmunocompromised patient. Spine. 2008;33(7):E221-224.

12）Matsumoto M, Chiba K, Toyama Y, Takeshita K, Seichi A, Nkamura K, Arimizu J, Fujibayashi S, Hirabayashi S, Hirano T, Iwasaki M, Kaneoka K, Kawaguchi Y, Ijiri K, Maeda T, Matsuyama Y, Mikami Y, Murakami H, Nagashima H, Nagata K, Nakahara S, Nohara Y, Oka S, Sakamoto K, Saruhashi Y, Sasao Y, Shimizu K, Taguchi T, Takahashi M, Tanaka Y, Tani T, Tokuhashi Y, Uchida K, Yamamoto K, Yamazaki M, Yokoyama T, Yoshida M, Nishiwaki Y: Surgical results and related factors for ossification of prosterior longitudinal ligament of the thoracic spinea multi-institutional retrospective study. Spine.2008;33(9):1034-1041.

13）Wakahara K, Ohno T, Kimura M, Masuda T, Nozawa S, Dohjima T, Yamamoto T, Nagano A, Kawai G, Matsuhashi A, Saitoh M, Takigami I, Okano Y, Shimizu K. EWS-Fli1 up-regulates

expression of the Aurora A and Aurora B kinases. Mol. Cancer Res. 2008. 6; 1937-1945.

14) Takigami I, Itokazu M, Itoh Y, Matsumoto K, Yamamoto T, Shimizu K. Limb-length measurement in total hip arthroplasty using a calipers dual pin retractor. Bull NYU Hosp Jt Dis. 2008;66(2):107-110.

15) Ogawa H, Ito Y, Itokazu M, Mori N, Shimizu T, Terabayashi N, Ishimaru D, Shimizu K. Morcellized Bone Grafting for Acetabular Deficiency in Cementless Total Hip Arthroplasty. ORTHOPEDICS. 2008; 31:986

16) Kikuike K, Miyamoto K, Hosoe H, Kushima Y, Shimizu K. Double-level posterior spinal shortening for paralytic osteoporotic vertebral collapse of two vertebral bodies with a normal vertebra in between: a case report. Arch Orthop Trauma Surg. 2008.3.18. [Epub ahead of print]

17) Kikuike K, Uemura S, Miyamoto K, Horiya Y, Shimizu K. Upper lumbar burst fracture due to recreational high jumping into a river: report of five cases. Arch Orthop Trauma Surg. 2008 .7.22. [Epub ahead of print]

18) Miyamoto K, Iinuma N, Ueki S, Shimizu K. Effects of abdominal belts on the cross-sectional shape of the trunk during intense contraction of the trunk muscles observed by computer tomography. Clin Biomech (Bristol, Avon). 2008.9. 20. [Epub ahead of print]

3．研究費獲得状況

(1) 競争的外部資金

1）研究代表者：戸山芳昭、研究分担者：清水克時；平成20年度厚生労働科学研究費補助金：難治性疾患克服研究事業：脊柱靱帯骨化症に関する調査研究；平成20年度；1,000千円

2）研究代表者：清水克時；2008年日本脊椎脊髄病学会 Visiting Scholar Program；100万円

3）研究代表者：山本眞由美；岐阜大学活性化経費（教育）：キャンパスライフの健康科学－生涯健康のために－（全学共通教育 健康科学・スポーツ演習）；平成18年－21年度；200万円

4）研究代表者：山本眞由美；岐阜大学産官学融合センター重点研究助成（平成20年度名称は産官学融合本部重点研究助成）「産官学共同研究マッチングファンド制度」：自己測定健康管理データを電子カルテ上で運営するシステムに開発；平成18－20年度；215万円

5）研究代表者：前田利之（阪南大学経営情報学部）、研究分担者：山本眞由美；科学研究費補助金（基盤研究 A 一般）：医療組織で携帯端末の活用による医療リスク防止のための研究；平成19－21年度；1,586万円

6）研究代表者：山本眞由美；岐阜大学活性化経費（地域連携：一般）：岐阜県における大学保健管理業務ならびに研究の発展プロジェクト；平成20年度；100万円

7）主研究担当者：速水悟、分担研究者：山本眞由美；財団法人岐阜県研究開発財団平成20年度知的クラスター創成事業：医療診断支援システムの開発－マルチモーダル医療診断支援システムの開発－；平成20年度；29,819千円

8）主研究担当者：武田純、分担研究者：山本眞由美；平成20年度厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業）：循環器リスクと耐糖能障害の効率的な健診マーカーの探索；平成20－22年度；18,945千円

9）事業推進代表者：森秀樹、事業推進責任者：古田善伯、実行委員：山本眞由美、田中生雅；文部科学省：新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム－生涯健康を目指した学生健康支援プログラム－；平成19－20年度；48,972千円

4．学会活動

1）清水克時：日本脊椎脊髄病学会評議員（平成19年４月26日～）

2）清水克時：日本脊椎脊髄病学会指導医制度検討委員会委員（平成19年６月５日～）

3）清水克時：日本脊椎脊髄病学会国際委員会委員（平成19年６月５日～）

4）清水克時：日本脊椎脊髄病学会倫理委員会委員（平成19年６月５日）

5）清水克時：日本脊椎脊髄病学会財務委員会委員（平成19年６月５日～）

6）清水克時：平成20年度日本手の外科学会評議員（平成20年５月８日）

7）清水克時：平成20年度日本手の外科学会倫理委員会委員（平成20年５月８日）

8）清水克時：第21回専門医試験口頭試験委員（平成20年10月22日）

9）清水克時：日本脊椎脊髄病学会2009 SAS scientific program reviewer（平成20年10月24日）

10）清水克時：日本整形外科学会筋骨格系ＴＡＧ組織委員会委員（平成20年11月20日）

11）山本眞由美：日本糖尿病学会学術評議員（～現在）

12）山本眞由美：日本内科学会東海地方会評議員（～現在）

13）山本眞由美：日本内分泌学会代議員（～現在）

14）山本眞由美：日本臨床栄養学会評議員（～現在）

15）山本眞由美：日本病態栄養学会評議員・NST コーディネーター（～現在）

16）山本眞由美：日本油化学会東海支部常任幹事（～現在）

17）山本眞由美：全国大学保健管理協会評議員（～現在）

18）山本眞由美：岐阜県医師会糖尿病対策委員会委員長（～現在）

19）山本眞由美：平成20年度全国大学保健管理協会東海北陸地方部会実行委員

20）田中生雅：平成20年度メンタルヘルス研究協議会拡大運営委員会運営委員

21）佐渡忠洋：日本臨床心理身体運動学会第11回大会実行委員

5．学会開催・学会講演ならびに雑誌編集等

清水克時：

1）株式会社医学書院「臨床整形外科」；編集委員（～現在）

2）Orthopaedic International: Editor（～現在）

3）Orthopaedic Today: Editor（～現在）

4）株式会社メディカ出版「整形外科看護」：編集同人（～現在）

5）神奈川 LCS フォーラム2008（2008.4.3、横浜市、講演「腰部脊柱狭窄症の治療」演者）

6）豊田加茂整形外科学術講演会（2008.4.26、豊田市、講演「腰痛治療の病診連携」演者）

7）小浜市医師会学術講演会（2008.5.16、小浜市、特別講演「骨粗鬆症性椎体骨折の手術」演者）

8）第14回山口県腰痛研究会（2008.5.29、山口市、特別講演「腰部脊柱管狭窄症の手術的治療」演者）

9）APOA,the Spine and Pediatric Sections 2008（2008.6.4-6.7, Jeju Island, Symposium 2：Cervical spondylotic myelopethy; chairperson）

10）APOA,the Spine and Pediatric Sections 2008（2008.6.4-6.7, Jeju Island, Surgical treatment for spondylolysis in young Athletes. Lecture）

11）第10回岐阜整形外科卒後夏期セミナー2008開催（2008.7.12）

12）外科医部会･労災指定医部会合同講演会（2008.7.13、岐阜、講演「脊椎のスポーツ障害」演者）

13）整形外科学術講演会（2008.7.18、那覇市、講演「脊椎感染症の診断と治療」演者）

14）The 18th Japanese-Korean Combined Orthopaedic Symposium（2008.7.31-8.2, Nagasaki, Symposium 1:spondyloarthropathy following hemodialysis. chairperson）

15）第７回尾張生活習慣病研究会（2008.8.2、名古屋市、講演「腰痛治療の病診連携」演者）

16）岐阜県国民健康保険運営協議会会長連絡協議会（2008.8.6、岐阜、特別講演「腰痛－運動器の生活習慣病」演者）

17）大田腰部脊柱管狭窄症セミナー2008（2008.8.11、大田市（Korea）、Hospital-clinic partership in low back pain practice. Lecture）

18）SICOT/SIROT2008 XXⅣ Triennial World Congress（2008.8.24-8.28, Hong Kong, Free Papers-Spine:Cervical Spine Ⅱ. chairperson）

19）痛みの治療フォラム in 岐阜（2008.9.4、岐阜、講演「腰痛の病態と治療－新しい概念と戦略－」演者）

20）第42回日本側彎症学会（2008.10.10-11、奈良、講演「側弯症治療のコツ 手術（前方法）」演者）

21）第23回日本整形外科学会基礎学術集会（2008.10.23-24、京都、講演「頚椎前方手術に役立つ機能解剖」演者）

22）8th Inspiration Meeting（2008.10.31-11.1, Rome, Round-table discussionn of clinical cases : Anterior stabilization of degenerative cervical spinal lesions. chairperson）

23）第43回東海接骨学会・第90回中部接骨学会（2008.11.16、羽島市、特別講演「頚椎症、OPPL の手術治療」演者）

24）名市大整形外科セミナー（2008.12.6、名古屋市、特別講演「スポーツ選手の腰椎分離症」演者）

山本眞由美：

1）日本静脈経腸栄養学会 第７回 TNT 岐阜研修会（2008.5.31-6.1、岐阜、症例検討･Ⅱ型糖尿病）

2）日本健康・栄養システム学会 平成20年度臨床栄養師継続研修（2008.7.4、岐阜、糖尿病）

3）第35回全国大学保健管理協会 東海・北陸地方部会保健管理担当職研究会（2008.7.23、岐阜、特定健診と特定保健指導にかかわる話題と学生のメタボリックシンドローム予防）

4）岐阜県栄養士会 会員生涯学習研修会（2008.9.13、岐阜、糖尿病ならびに糖尿病予備軍の指導－糖尿病対策事業、特定健康診断業務の理解を整理する－）

5）国立大学法人保健管理施設協議会 第11回フィジカルヘルス・フォーラム（2009.3.18、岐阜、学生に対する指導の重要性）

田中生雅：

1）平成20年度岐阜大学新入職員研修会（2008.4.3、岐阜、職場のメンタルヘルス）

2）岐阜県保健所職員講習会（2008.6.9、山県市、職域メンタルと社会復帰）

3）全国大学保健管理協会 平成20年度東海・北陸地方部会（2009.7.24-25、岐阜、パネルディスカッション「学生のメンタルヘルスに関する最近の話題」）

4）平成20年度メンタルヘルス研究協議会（2008.9.19、東京、成績不良学生への対応）

5）平成20年度岐阜大学新入職員研修会（2008.10.3、岐阜、職場のメンタルヘルス）

6）三重大学学生支援職員研修会（2008.10.16、津市、大学生のメンタルヘルスと自殺）

7）岐阜大学教務課相談員研修会（2008.10.20、岐阜、最近の学生の特徴）

8）保健管理担当職岐阜地区研究会（2008.12.6、岐阜、てんかんのある学生への対応）

6．社会活動

1）清水克時：臨床治験に関する医学専門家（～現在）

2）清水克時：整形災害外科学研究助成財団選考委員（～現在）

3）清水克時：財団法人整形災害科学研究助成財団理事（2007.5～現在）

4）清水克時：岐阜難病連難病医療福祉相談会相談員（2008.10.5）

5）清水克時：第10回国際テニス・スポーツ医学会議組織委員（2008.10.2－4）

6）山本眞由美：岐阜生活習慣病運動療法研究会 世話人（～現在）

7）山本眞由美：岐阜県保健医療推進協議会委員（～現在）

8）山本眞由美：恵那地域糖尿病協議会委員（～現在）

9）山本眞由美：岐阜市健康産業振興分科会委員（2007.8.31～2008.3.31）

10）山本眞由美：地域保健計画部会委員（2005.11.1. ～2009.10.31.）

11）山本眞由美：岐阜県大学保健管理研究会会長（～現在）

12）山本眞由美：独立行政法人日本学生支援機構「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」ペーパーレフェリー（2008.4.21－2009.3.31）

13）田中生雅：岐阜労働局セクハラカウンセラー（～現在）

14）田中生雅：岐阜県障害者施策推進協議会委員（～現在）

15）田中生雅：岐阜県家庭における暴力防止協議会配偶者暴力等防止専門部会委員（～現在）

7．報告書

1）山本眞由美：大学生の肥満と体質の関係調査　－将来の生活習慣病の発症を予防するために－：平成17年度～平成19年度科学研究費補助金（基盤研究（C））研究成果報告書：(2008.5.)

2）山本眞由美：学生支援におけるIT化の将来について：全国大学保健管理協会　東海・北陸地方部会報告書（平成20年度）：49（2008.12.）

3）山本眞由美：特定健診と特定保健指導にかかわる話題と学生のメタボリックシンドローム予防：全国大学保健管理協会　東海・北陸地方部会報告書（平成20年度）：88-92（2008.12.）

4）野方文雄、石塚達夫、森田浩之、宇野嘉弘、山本眞由美：動画で学ぶ頸動脈エコー検査アトラス（CD版）：ロボティック先端医療クラスター技術シーズ集：27-28、CD（全25ページ）（2009.1.1.）

5）山本眞由美：生涯健康を目指した学生健康支援プログラム：平成19年度「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」意見交換会実施報告書：107-126（2009.2.）

6）山本眞由美：はじめに、ラウンドテーブルディスカッション「薬剤師の医療マネジメント教育に求めること」:情報発信型 特別講演会　医療専門職のための医療マネジメント教育発展のために～創薬医療情報研究科に期待すること～：1,17-22（2009.2.）

7）山本眞由美：SPさんから教えていただきました：岐阜大学模擬患者の会10周年記念誌：47-48（2009.3.）

8）山本眞由美：（日本語訳監修）「オーストラリアにおけるジェネリック医薬品の現状とその政策」「意見交換」、（執筆）「さいごに」：特別講演および意見交換会記録集「オーストラリアにおけるジェネリック医薬品の現状とその政策」：6-17,18-21,23（2009.3.）

9）田中生雅：精神医療機関受診中の学生の大学への適応：全国大学保健管理協会 全国大学保健管理協会　東海・北陸地方部会報告書（平成20年度）：30-31

10）田中生雅：「成績不良学生への対応」：メンタルヘルス研究協議会平成20年度報告書：50-51

8．報道

1）山本眞由美：メタボリックシンドロームの予防に向けて学ぶ：岐阜の国保（2008年5月）

2）山本眞由美：岐阜大学祭の安全衛生管理について：CBC放送（2008年7月2日18：00）

3）山本眞由美：学園祭の衛生管理、監視体制強化へ、岐阜大実行委－食中毒防止に講習会－：中日新聞（2008年7月3日）

4）山本眞由美：黒木前岐阜大学学長が特別講演　－岐阜市で全国大学保健管理協地方部会－：岐阜新聞（2008年7月25日）

5）山本眞由美：学生の健康管理、岐阜で研究集会　－東海・北陸の部会－：中日新聞（2008年7月25日）

6）清水克時：マルホ整形外科セミナー：ラジオNIKKEI本社スタジオ（2008年9月3日放送）

7）山本眞由美：岐阜大公開講座　「医療マネジメント講座」：朝日新聞（2008年12月11日）

9．学会発表

1）細江英夫、清水克時、宮本　敬、岩井智守男、福田章二、喜久生健太：骨粗鬆症性椎体圧潰に対する椎弓をとらえる脊椎短縮術－術後骨折と後弯－：第110回中部日本整形外科災害外科

学会・学術集会、大津2008.04.11-12.

2）大野貴敏、清水克時、大島康司、西本裕:類骨骨腫に対するCTガイド下ラジオ波焼灼術による低侵襲手術の経験：第110回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会、大津2008.04.11-12.

3）寺林伸夫、糸数万正、伊藤芳毅、大野義幸、森敦幸、清水克時：生物学的製剤投与中の関節リウマチ患者に対する人工関節置換術の経験：第110回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会、大津2008.04.11-12.

4）岩井智守男、宮本敬、大野久美子、田中健一郎、細江英夫、清水克時:宗教上の理由で無輸血手術を希望された特発性側彎症の前方手術2症例：第110回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会、大津2008.04.11-12.

5）長縄敏毅、宮本敬、細江英夫、清水克時：片側椎弓切除による脊髄腫瘍摘出術の経験：第110回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会、大津2008.04.11-12.

6）佐藤正夫、四戸隆基、馬場岳士、角田恒、清水克時：生物学的製剤治療における病診連携：第110回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会、大津2008.04.11-12.

7）小川寛恭、伊藤芳毅、瀧上伊織、糸数万正、森敦幸、清水克時：Vancouver typeB3ステム周囲骨折に対しallograft- stem compositeを使用した人工股関節再置換術の1例：第110回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会、大津2008.04.11-12.

8）岡安伸二、下田浩欣、伊藤善規、紀ノ定保臣、武田純、山本眞由美:インスリンの安全管理に関する電子カルテ機能の有用性と問題点:第51回日本糖尿病学会年次学術集会、東京2008,5,22-24.

9）下田浩欣、高塚直能、紀ノ定保臣、岡安伸二、伊藤善規、武田純、山本眞由美：電子カルテ情報マイニングシステムを用いて分析した糖尿病専門病棟患者の動向について：第51回日本糖尿病学会年次学術集会、東京2008,5,22-24.

10）大野貴敏、大島康司、西本裕、清水克時：骨線維性異形成の治療経験：第41回日本整形外科学会　骨・軟部腫瘍学術集会、浜松2008.07.17-18.

11）若原和彦、大野貴敏、木村正志、増田剛宏、山本孝敏、松橋彩、岡野幸雄、清水克時：EWS-Fli1はaurora kinaseの転写活性を上昇する：第41回日本整形外科学会　骨・軟部腫瘍学術集会、浜松2008.07.17-18.

12）佐藤正夫、四戸隆基、田中領、清水克時：生物学的製剤使用中に生じた肺結核症例：第20回中部リウマチ学会、浜松2008.09.06.

13）佐藤正夫、四戸隆基、田中領、清水克時：関節リウマチ患者の処方薬に対する認識度について：第20回中部リウマチ学会、浜松2008.09.06.

14）細江英夫、清水克時、宮本敬、田中健一郎、福田章二、喜久生健太、長縄敏毅：小皮切による胸椎前方手術：第15回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会学術集会、大津2008.09.19-20.

15）山本眞由美:糖尿病の遠隔病診連携を支援する岐阜県医師会病診連携システム構築の報告:日本遠隔医療学会JTTA 2008 in Gifu、岐阜2008.10.11.

16）細江英夫、清水克時、宮本敬、田中健一郎、岩井智守男、飯田宏樹：輸血拒否患者に対する脊椎手術の経験：第42回日本側彎症学会、奈良2008.10.10-11.

17）宮本敬、細江英夫、田中健一郎、岩井智守男、清水克時：特発性側彎症に対する前方矯正固定術の治療成績（５年以上経過観察例）：第42回日本側彎症学会、奈良2008.10.10-11.

18）細江英夫、清水克時、宮本敬、田中健一郎、福田章二、喜久生健太：片側椎弓切除術の低侵襲性について：第111回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会、2008.10.17-18. 金沢

19）伊藤芳毅、森敦幸、寺林伸夫、小川寛恭、清水克時：カップサポーターを用いた臼蓋再置換術の成績：第111回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会、金沢2008.10.17-18.

20）福田章二、宮本敬、田中健一郎、細江英夫、清水克時：経椎間孔腰椎椎体間固定術においてKindney 型スペーサーの前方設置が重要である：第111回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会、金沢2008.10.17-18.

21）森敦幸、伊藤芳毅、松橋彩、寺林伸夫、清水孝志、清水克時：同種骨移植を併用した人工膝関節再置換術の経験：第111回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会、金沢2008.10.17-18.

22）竹内健太郎、宮本敬、細江英夫、飯沼宣樹、西本博文、清水克時：脊椎病変に対して外科的治療を施行した造血器腫瘍の臨床的検討：第111回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会、金沢2008.10.17-18.

23）山口良大、宮本敬、細江英夫、鈴木直樹、田中健一郎、清水克時：下位腰椎及び腰仙移行部発生の感染性脊椎炎に対する脊椎インスツルメンテーションを用いた外科的治療の検討：第111回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会、金沢2008.10.17-18.

24）佐藤正夫、清水克時、四戸隆基：関節リウマチに対するサラゾスルファピリジン単独療法：第111回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会、金沢2008.10.17-18

25）寺林伸夫、大野貴敏、大島康司、清水克時、西本裕、安福嘉則：第1肋骨骨折後儀関節が原因で起きた胸郭出口症候群の１例：第111回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会、金沢2008.10.17-18.

26）佐渡忠洋、山本眞由美、田中生雅：幹先端処理からみる個別法と集団法のバウム：日本ロールシャッハ学会 第12回大会、新潟2008,10,25-26.

27）山本眞由美、田中生雅、佐渡忠洋、臼井るり子、高井郁恵、端元加奈子、長瀬江利、加納晃子、浅田修市、清水克時：岐阜県内の大学・短大等学生の喫煙実態調査－岐阜県大学保健管理研究会の調査結果より－：第46回全国大学保健管理研究集会、京都2008.10.29-30.

28）田中生雅、佐渡忠洋、梶川幸世、清水克時、山本眞由美：大学生の精神的健康度と QOL：第46回全国大学保健管理研究集会、京都2008.10.29-30.

29）佐渡忠洋、田中生雅、清水克時、山本眞由美：集団スクリーニングへのバウムテスト導入の基礎的研究－個別法と集団法との描線比較から－：第46回全国大学保健管理研究集会、京都2008.10.29-30.

30）山本眞由美、細江香苗、久保田芳則、武田純：糖尿病予備群に対する栄養指導成果の検討～岐阜県恵那地域糖尿病協議会の取り組みから～：第12回日本病態栄養学会年次学術集会、京都2009.1.10-11.

31）田中生雅、佐渡忠洋、武田純、清水克時、山本眞由美：肥満大学生の成果に影響する食行動

についての検討：第12回日本病態栄養学会年次学術集会、京都2009.1.10-11.

32）佐渡忠洋：登校しぶりがきっかけで来談した中学１年生男児との関わり：日本臨床心理身体運動学会第32回研修会事例発表、奈良2009.3.20.

33）下田浩欣、松浦克彦、西村美佐夫、月岡忠夫、岡安伸二、山本眞由美、杉山正、伊藤善規：がん化学療法における制吐対策を目的とした高用量デキサメタゾン含有フィルム製剤の開発：日本薬学会第129年会、京都2009.3.26-28.

34）Yamamoto M., Kawade Y., Totani R., Takeda J., Umemoto T., Kinosada Y.：An electronic support system for diabetic medicine to promote physician cooperation in Gifu prefectural medical association.：The 8th Japan-China Friendship Symposium on Diabetes Mellitus, Wakayama, 2008.4.25-26.

35）Okayasu S., Kinosada Y., Shimoda H., Ito Y., Takeda J., Yamamoto M.：Effect of electronic patient medical records（EPMR）system and computerized clinical guideline on safety management of insulin therapy.：The 8th Japan-China Friendship Symposium on Diabetes Mellitus, Wakayama, 2008.4.25-26.

36）Tanaka M., Ueki H., Yamamoto M.：Relationship between Mental Well-being / Stress Coping / TQM and Blood Glucose Level / BMI in Diabetic Patients.：68th Scientific Sessions, San Francisco, 2008.6.6-10.

37）Yamamoto M., Kawade Y., Totani R., Takeda J., Umemoto T., Kinosada Y.：Electronic Support System for Diabetes Management and Promotion of Physician Cooperation in Gifu Prefecture Japan.： 68th Scientific Sessions, San Francisco, 2008.6.6-10.

10. 研究会発表

１）佐渡忠洋：外傷体験・宗教体験・病的体験―統合失調症が疑われた30代男性のインテーク面接とロールシャッハ反応から―：岐阜ローシャッハ研究会、岐阜2008.5.21＆28.

２）佐渡忠洋：事例発表：溪蓀塾心理教育相談室事例検討会（日本臨床心理身体運動学会指定研修会）、奈良2008.6.7.

３）佐渡忠洋：事例発表：溪蓀塾心理教育相談室事例検討会（日本臨床心理身体運動学会指定研修会）、静岡2008.8.16.

11. 講演活動

１）山本眞由美：生涯健康を目指した学生健康支援プログラム、日本学生支援機構 平成19年度「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」意見交換会、ヒルトン名古屋2008.3.10.

２）山本眞由美：生活習慣病予防－メタボリックシンドロームを中心に－、岐阜県健康長寿財団健康づくり推進支援事業、岐阜グランドホテル2008.6.26.

３）山本眞由美：組織論；クオリティーマネジメント、医療経営人材育成基礎研修コース（2）、大阪大学中之島センター2008.8.9.

4）山本眞由美：糖尿病予防と特定健康診断－日常診療に役立つ話題－、第４回『戸塚・泉臨床にいかせる研究会』、横浜エクセルホテル東急2008.9.19.

5）山本眞由美：糖尿病ならびに糖尿病予備群の患者指導、第４回多治見市糖尿病連携の会、多治見市医師会２Ｆホール2008.10.16.

6）山本眞由美：糖尿病看護の基本と患者指導を学ぶ、岐阜県看護協会 平成20年度糖尿病看護研修会、岐阜県県民ふれあい会館2008.11.29,2009.2.7.

7）山本眞由美：トータルクオリティーマネジメント～医療専門職の意識改革～　解説、近畿圏国立病院院長研修、大阪医療センター2008.12.13.

8）山本眞由美：糖尿病とその予防について～予防対策は青少年のうちから～、岐阜県健康長寿財団 平成20年度市町村等健康づくり担当者研修会、岐阜県健康科学センター2009.1.22.

9）山本眞由美:研究者が海外で研究する際の健康管理について、文部科学省大学院教育改革支援プログラム　グローバル化に向けた実践獣医学教育の推進　連合獣医学集中ゼミナール、岐阜大学連合大学院棟2009.2.18.

10）山本眞由美：岐阜大学における学生支援 GP の取り組みについて、産業医科大学 平成20年度学生支援プログラム意見交換会、産業医科大学2009.2.26.

11）山本眞由美:生涯健康を目指した学生健康支援プログラム、日本学生支援機構 平成20年度「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」意見交換会、東京ガーデンパレス2009.3.3.

12）山本眞由美：糖尿病について－発症並びに合併症の予防－、各務原市 職員健康講座、各務原市産業文化センター2009.3.11.

13）山本眞由美：学生に対する指導の重要性、シンポジスト、国立大学法人保健管理施設協議会第11回フィジカルヘルス・フォーラム、名古屋大学2009.3.18.

12. その他

1）山本眞由美：日本学生支援機構 平成19年度「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」、意見交換会の開催について2008.4.（ホームページ）

2）清水克時：第110回中部日本整形外科災害外科学会学術集会、2008.4.11-12、大津市、講演「腰部脊柱管狭窄症の病態と治療」（座長）

3）清水克時:第10回岐阜大学整形外科教育研修会、2008.5.31、岐阜市、特別講演「上肢の絞扼性末梢神経障害について」（座長）

4）山本眞由美:日本女性科学者の会、創立50年記念誌別冊 活動と提言 会員の横顔 p42、2008.6.10.（記事）

5）清水克時:岐阜骨粗鬆症リバーサイドカンファレンス、2008.6.21、岐阜、講演「高齢者の骨折予防と転倒予」（座長）

6）清水克時：岐阜県 VTE 予防セミナー、2008.7.11、岐阜、「当院におけるフォンダパリヌクスの使用経験」「下肢整形外科周術期予防の最新ストラテジー」（座長）

7）清水克時：第41回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会、2008.7.17-18、浜松、教育研修講

演「Current status of spinal tumors in the USA」（座長）

8）山本眞由美：平成20年度（第46回）全国大学保健管理協会東海・北陸地方部会研究集会、グランヴェール岐山2008.7.25.（保健管理担当職研究会パネルディスカッション座長）

9）山本眞由美：平成20年度（第46回）全国大学保健管理協会東海・北陸地方部会研究集会、グランヴェール岐山2008.7.25.（「学生支援における IT 化の将来について」シンポジウム座長）

10）清水克時：ぎふ金華山整形外科セミナー、2008.9.6、岐阜、講演「整形外科医の知っておくべき医療訴訟とリスクマネジメントの知識－整形外科医と患者の安全と安心のために－」（座長）

11）清水克時：第 6 回整形外科長良リバーサイドフォーラム、2008.9.20、岐阜、講演「肩甲帯腫瘍の再建と機能」（座長）

12）清水克時：第15回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会学術集会、2008.9.19-20、大津市、特別講演「Percutaneous vertebroplasty」（座長）

13）山本眞由美：第13回岐阜生活習慣病運動療法研究会、岐阜キャッスルイン2008.9.25.（研究会座長）

14）清水克時：モーラスパップ発売20周年記念講演会、2008.10.2、岐阜市、津川雅彦講演「役者生活を支える心と体の健康」（座長）

15）清水克時：ST360° Surgical Technique Seminar、2008.10.3、名古屋市、貢川整形外科病院院長池上仁志講演（座長）

16）山本眞由美：日本遠隔医療学会、岐阜2008.10.11.（ランチョンセミナー②座長）

17）清水克時：腰部脊柱管狭窄症と血管疾患学術講演会、2008.11.27、岐阜市、講演「腰部脊柱管狭窄症の病態と治療」（座長）

18）清水克時：保険診療に関する講習会、2008.12.11、岐阜、講演「保険医と診療報酬の審査」（座長）

19）山本眞由美：日本女医会誌197号「私の大学『岐阜大学医学部』」2009.1.25.（寄稿）

Ⅳ　教育・広報活動

１．保健管理センター利用案内

２．保健管理センターニュース刊行

健康相談・診察

やむをえず日程変更することがありますので、保健管理センター窓口またはホームページで確認してください。

医師・臨床心理士・保健師日程表

	一般診療（医師診察）	健康診断結果説明 健康相談・指導	メンタルヘルス
	午前 10:00～12:30	午後 13:30～15:00	診療・相談は予約制
月	浅田　修市（放射線科）	学校医・保健師	田中　生雅（メンタルヘルス） AM・PM
火	山本眞由美（内科）	学校医・保健師	梶川　幸世（臨床心理士） AM・PM
水	山本眞由美（内科）	学校医・保健師	―
木	高田　信幸（平野病院･内科）（11:00～12:30）	学校医・保健師	田中　生雅（メンタルヘルス） AM
金	浅田　修市（放射線科）	学校医・保健師	田中　生雅（メンタルヘルス） AM

歯科相談

毎月2回歯科専門医（岐阜大学病院歯科口腔外科）による健康相談を開設しています。

平成20年度

	20年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	21年1月	2月	3月
第1又は第2水曜日 13:30～15:00	―	9（第2水曜日）	7（第2水曜日）	4	2	6	3	1	5	3	14（第2水曜日）	4	11（第2水曜日）
第3水曜日 13:30～15:00	19	16	21	18	16	―	―	15	19	17	―	―	18

看護スタッフ〈開館時間中常駐しています〉

※ケガの処置をしたり、市販薬をお渡しすることができます。
※禁煙などの健康相談を随時受け付けています。

必要に応じて適切な医療機関を紹介することがあります。家族と離れて生活する場合は保険証の「遠隔地被扶養者証」を必ず手元に用意しておいてください。

保健管理センター利用案内

2008年度版

〒501-1193　岐阜市柳戸1-1
岐阜大学保健管理センター
TEL(058)293-2174　FAX(058)293-2177
http://www.gifu-u.ac.jp/hoken/
E-mail　hokencen@gifu-u.ac.jp

保健管理センター利用案内

～明るく健康な学生生活のために～

学生の健康を守る味方です

*とっさの病気やケガの救急処置・診察にすぐに対応します
*どんなことでも健康相談にのります
*利用はもちろん無料です

将来の健康もサポートします

*各種健康診断（定期・特別・臨時・留学生など）をします
*結果に基づいて再検査や健康指導をします
*健康な体重コントロール、禁煙サポートなどの健康増進を助けます

大学内の健康環境改善に努力しています

*エイズ・タバコなどの講演会を開催し、健康に関する啓発活動をしています
*学内の予防、安全衛生環境改善のために努力しています

こころの相談に応じています

*精神科（心療内科）医師と非常勤臨床心理士が相談をお受けします
*学生相談室の仕組みもあります。希望の相談室員に連絡をとります

利用するには

開館時間 （看護スタッフが対応します）	月～金　8:30～17:00（土日・祝日・年末年始を除く）
医師診察・健康相談・ 健康指導など	10:00～12:30　　13:00～15:00
利用方法	保健管理センターの受付まで申し出てください。 来られない場合は、電話・メールによる相談も応じています。 （こころの相談や学生相談については予約を取ることもできます）

学生相談室・学生ラウンジ

学生相談室って?

保健管理センターの教員（医師）、非常勤、臨床心理士と各学部の教員で構成されていて、皆様の様々な心や身体の悩みについて相談できるところです。勉強・進路・人間関係の悩み・不安・落ち込み、体の症状など、なんでもよいのです。「学生相談室」のことを思い出し、連絡をとってみてください。

保健管理センター相談室

学生ラウンジって?

大学会館の2階にあり、スクールカウンセラーや学務部職員が大学生活のこと（学業や人間関係のこと）や就職活動のことを何でも相談できるところです。（開館時間8:30～17:00）解決の手伝いをしてくれます。

学生ラウンジ

学生相談室・学生ラウンジの利用の仕方は?

1.保健管理センターでの学生相談を希望する場合

保健管理センターの窓口へ来所するか、電話またはメールで予約をとってください。その場でも可能な限り相談に応じますが、できない場合や十分な時間がとれないことがあります。なるべく予約をとるようにしてください。
保健管理センター／TEL（058）293-2174

2.各学部の相談室員の相談を希望する場合

相談を希望する教員に直接予約をとってください。連絡方法についてはホームページをご参照ください。

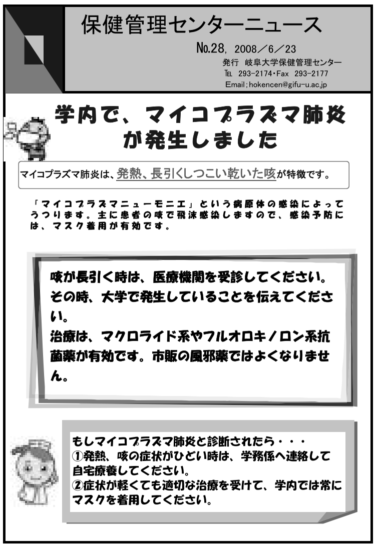
3.学生ラウンジで相談を希望する場合

学生会館2階の学生ラウンジ窓口へ来所するか、または電話かメールで予約をとってください。
学生ラウンジ／TEL（058）293-2132、FAX（058）293-3381
E-mail　yorozu@gifu-u.ac.jp

4.誰に相談するのが良いか迷っている場合

保健管理センターと学生相談ラウンジでは、各学部の相談室員への相談窓口業務もします。
本当の相談の前の、「相談」も保健管理センターのスタッフがお手伝いします。

2．保健管理センターニュース刊行



保健管理センターニュース

No.28, 2008／6／23
発行 岐阜大学保健管理センター
TEL 293-2174・Fax 293-2177
Email；hokencen@gifu-u.ac.jp

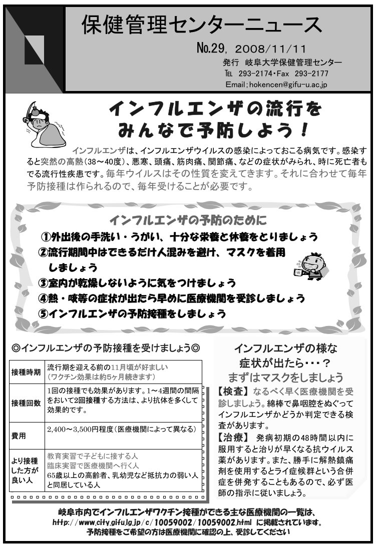
学内で、マイコプラズマ肺炎が発生しました

マイコプラズマ肺炎は、発熱、長引くしつこい乾いた咳が特徴です。

「マイコプラズマニューモニエ」という病原体の感染によっておこります。主に患者の咳で飛沫感染しますので、感染予防には、マスク着用が有効です。

咳が長引く時は、医療機関を受診してください。その時、大学で発生していることを伝えてください。
治療は、マクロライド系やフルオロキノロン系抗菌薬が有効です。市販の風邪薬ではよくなりません。

もしマイコプラズマ肺炎と診断されたら・・・
①発熱、咳の症状がひどい時は、学務係へ連絡して自宅療養してください。
②症状が軽くても適切な治療を受けて、学内では常にマスクを着用してください。



保健管理センターニュース

No.29, 2008/11/11
発行 岐阜大学保健管理センター
TEL 293-2174・Fax 293-2177
Email；hokencen@gifu-u.ac.jp

インフルエンザの流行をみんなで予防しよう！

インフルエンザは、インフルエンザウイルスの感染によっておこる病気です。感染すると突然の高熱（38～40度）、悪寒、頭痛、筋肉痛、関節痛、などの症状がみられ、時に死亡者もでる流行性疾患です。毎年ウイルスはその性質を変えてきます。それに合わせて毎年予防接種は作られるので、毎年受けることが必要です。

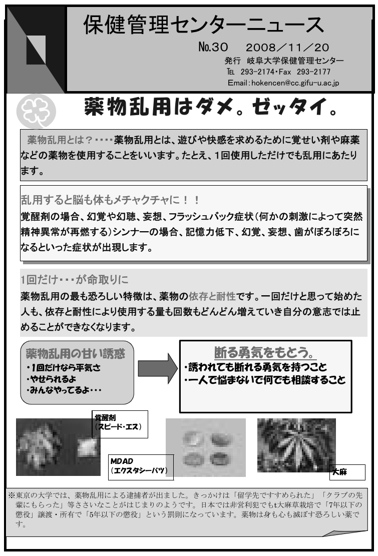
インフルエンザの予防のために
①外出後の手洗い・うがい、十分な栄養と休養をとりましょう
②流行期間中はできるだけ人混みを避け、マスクを着用しましょう
③室内が乾燥しないように気をつけましょう
④熱・咳等の症状が出たら早めに医療機関を受診しましょう
⑤インフルエンザの予防接種をしましょう

◎インフルエンザの予防接種を受けましょう◎

接種時期	流行期を迎える前の11月頃が好ましい（ワクチン効果は約5ヶ月続きます）
接種回数	1回の接種でも効果があります。1～4週間の間隔をおいて2回接種する方法は、より抗体を多くして効果的です。
費用	2,400～3,500円程度（医療機関によって異なる）
より接種した方が良い人	教育実習で子どもに接する人 臨床実習で医療機関へ行く人 65歳以上の高齢者、乳幼児など抵抗力の弱い人と同居している人

インフルエンザの様な症状が出たら・・・？
まずはマスクをしましょう
【検査】なるべく早く医療機関を受診しましょう。綿棒で鼻咽腔をぬぐってインフルエンザかどうか判定できる検査があります。
【治療】発病初期の48時間以内に服用すると治りが早くなる抗ウイルス薬があります。また、勝手に解熱鎮痛剤を使用するとライ症候群という合併症を併発することもあるので、必ず医師の指示に従いましょう。

岐阜市内でインフルエンザワクチン接種ができる主な医療機関の一覧は、http://www.city.gifu.lg.jp/c/10059002/10059002.html に掲載されています。
予防接種をご希望の方は医療機関に確認の上、受診してください



保健管理センターニュース

No.30 2008／11／20
発行 岐阜大学保健管理センター
TEL 293-2174・Fax 293-2177
Email：hokencen@cc.gifu-u.ac.jp

薬物乱用はダメ。ゼッタイ。

薬物乱用とは？・・・・薬物乱用とは、遊びや快感を求めるために覚せい剤や麻薬などの薬物を使用することをいいます。たとえ、1回使用しただけでも乱用にあたります。

乱用すると脳も体もメチャクチャに！！
覚醒剤の場合、幻覚や幻聴、妄想、フラッシュバック症状（何かの刺激によって突然精神異常が再燃する）シンナーの場合、記憶力低下、幻覚、妄想、歯がぼろぼろになるといった症状が出現します。

1回だけ・・・が命取りに
薬物乱用の最も恐ろしい特徴は、薬物の依存と耐性です。一回だけと思って始めた人も、依存と耐性により使用する量も回数もどんどん増えていき自分の意志では止めることができなくなります。

薬物乱用の甘い誘惑
・1回だけなら平気さ
・やせられるよ
・みんなやってるよ・・・

断る勇気をもとう。
・誘われても断れる勇気を持つこと
・一人で悩まないで何でも相談すること

覚醒剤（スピード・エス）
MDAD（エクスタシー/バツ）
大麻

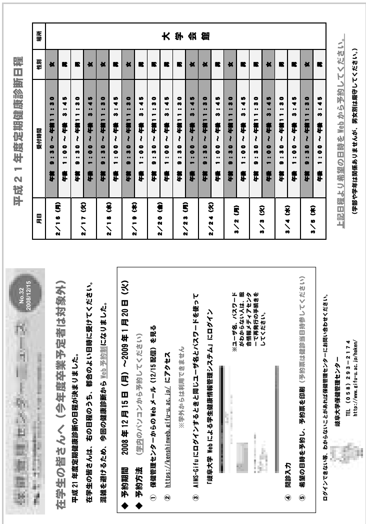
※東京の大学では、薬物乱用による逮捕者が出ました。きっかけは「留学先ですすめられた」「クラブの先輩にもらった」等ささいなことがはじまりのようです。日本では非営利でも大麻草栽培で「7年以下の懲役」譲渡・所有で「5年以下の懲役」という罰則になっています。薬物は身も心も滅ぼす恐ろしい薬です

保健管理センターニュース No.31, 2008/11/27
発行 岐阜大学保健管理センター TEL 293-2174 Fax 293-2177 Email：hokencen@gifu-u.ac.jp

平成21年度定期健康診断の日程が決まりました！

月日	受付時間	性別	場所
2／16(月)	午前 9:30～午前11:30	女	大学会館
	午後 1:00～午後 3:45	男	
2／17(火)	午前 9:30～午前11:30	男	
	午後 1:00～午後 3:45	男	
2／18(水)	午前 9:30～午前11:30	女	
	午後 1:00～午後 3:45	男	
2／19(木)	午前 9:30～午前11:30	女	
	午後 1:00～午後 3:45	男	
2／20(金)	午前 9:30～午前11:30	男	
	午後 1:00～午後 3:45	男	
2／23(月)	午前 9:30～午前11:30	男	
	午後 1:00～午後 3:45	男	
2／24(火)	午前 9:30～午前11:30	女	
	午後 1:00～午後 3:45	男	
3／2(月)	午前 9:30～午前11:30	男	
	午後 1:00～午後 3:45	男	
3／3(火)	午前 9:30～午前11:30	男	
	午後 1:00～午後 3:45	女	
3／4(水)	午前 9:30～午前11:30	男	
	午後 1:00～午後 3:45	男	
3／5(木)	午前 9:30～午前11:30	女	
	午後 1:00～午後 3:45	男	

昨年までは、学部・学科等ごとに指定された日時に受診していただいていましたが、今回からは上記健診日程の中から希望の日時をWeb予約し、受診していただけます。（男女別は厳守）
予約の仕方については後日お知らせします。



平成21年度定期健康診断日程

在学生の皆さんへ（今年度卒業予定者は対象外）

上記日程より希望の日時をWebから予約してください。

保健管理センターニュース

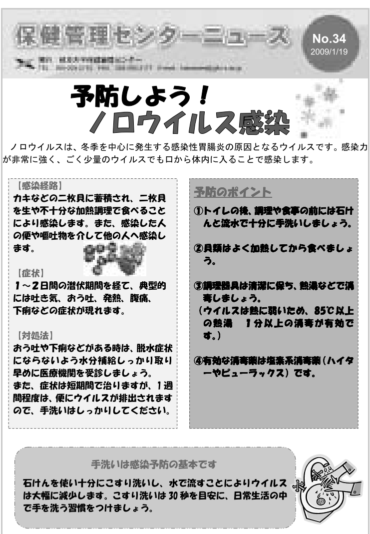
No.33 2008/12/18

学生相談室のご案内

学生相談室とは、保健管理センター教官、心理カウンセラー、各学部の教官で構成され、皆さんの様々な心や身体の悩みについて相談できるところです。勉強や進路、人間関係の悩みや不安などなんでもよいので一人で抱え込まずご相談ください。※相談内容について秘密は厳守されます。

相談室員の紹介

利用方法
1．保健管理センターでの相談を希望する場合
保健管理センター窓口へ来所するか電話、メールで予約を取ってください。
2．各学部の相談員の相談を希望する場合
相談を希望する教官へ直接連絡を取ってください。（上記連絡先を参照）



保健管理センターニュース

No.34 2009/1/19

予防しよう！ノロウイルス感染

ノロウイルスは、冬季を中心に発生する感染性胃腸炎の原因となるウイルスです。感染力が非常に強く、ごく少量のウイルスでも口から体内に入ることで感染します。

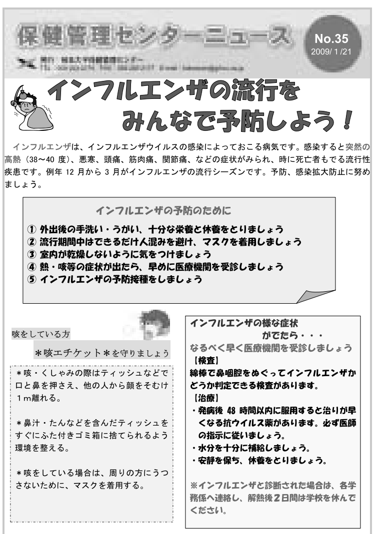
【感染経路】
カキなどの二枚貝に蓄積され、二枚貝を生や不十分な加熱調理で食べることにより感染します。また、感染した人の便や嘔吐物を介して他の人へ感染します。

【症状】
1～2日間の潜伏期間を経て、典型的には吐き気、おう吐、発熱、腹痛、下痢などの症状が現れます。

【対処法】
おう吐や下痢などがある時は、脱水症状にならないよう水分補給しっかり取り早めに医療機関を受診しましょう。
また、症状は短期間で治りますが、1週間程度は、便にウイルスが排出されますので、手洗いはしっかりしてください。

予防のポイント
①トイレの後、調理や食事の前には石けんと流水で十分に手洗いしましょう。
②食品はよく加熱してから食べましょう。
③調理器具は清潔に保ち、熱湯などで消毒しましょう。（ウイルスは熱に弱いため、85℃以上の熱湯 1分以上の消毒が有効です。）
④有効な消毒薬は塩素系消毒薬（ハイターやピューラックス）です。

手洗いは感染予防の基本です
石けんを使い十分にこすり洗いし、水で流すことによりウイルスは大幅に減少します。こすり洗いは30秒を目安に、日常生活の中で手を洗う習慣をつけましょう。



保健管理センターニュース

No.35 2009/1/21

インフルエンザの流行をみんなで予防しよう！

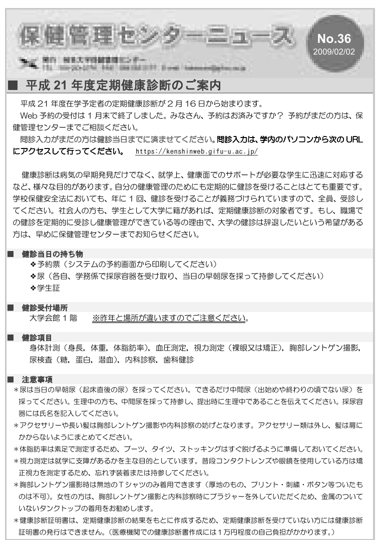
インフルエンザは、インフルエンザウイルスの感染によっておこる病気です。感染すると突然の高熱（38～40度）、悪寒、頭痛、筋肉痛、関節痛、などの症状がみられ、時に死亡者もでる流行性疾患です。例年12月から3月がインフルエンザの流行シーズンです。予防、感染拡大防止に努めましょう。

インフルエンザの予防のために
① 外出後の手洗い・うがい、十分な栄養と休養をとりましょう
② 流行期間中はできるだけ人混みを避け、マスクを着用しましょう
③ 室内が乾燥しないように気をつけましょう
④ 熱・咳等の症状が出たら、早めに医療機関を受診しましょう
⑤ インフルエンザの予防接種をしましょう

咳をしている方
＊咳エチケット＊を守りましょう
＊咳・くしゃみの際はティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけ1m離れる。
＊鼻汁・たんなどを含んだティッシュをすぐにふた付きゴミ箱に捨てられるよう環境を整える。
＊咳をしている場合は、周りの方にうつさないために、マスクを着用する。

インフルエンザの様な症状がでたら・・・
なるべく早く医療機関を受診しましょう
【検査】
綿棒で鼻咽腔をぬぐってインフルエンザかどうか判定できる検査があります。
【治療】
・発病後48時間以内に服用すると治りが早くなる抗ウイルス薬があります。必ず医師の指示に従いましょう。
・水分を十分に補給しましょう。
・安静を保ち、休養をとりましょう。

※インフルエンザと診断された場合は、各学務係へ連絡し、解熱後2日間は学校を休んでください。



保健管理センターニュース

No.36 2009/02/02

■ 平成21年度定期健康診断のご案内

平成21年度在学予定者の定期健康診断が2月16日から始まります。
Web予約の受付は1月末で終了しました。みなさん、予約はお済みですか？予約がまだの方は、保健管理センターまでご相談ください。
問診入力がまだの方は健診当日までに済ませてください。問診入力は、学内のパソコンから次のURLにアクセスして行ってください。 https://kenshinweb.gifu-u.ac.jp/

健康診断は病気の早期発見だけでなく、就学上、健康面でのサポートが必要な学生に迅速に対応するなど、様々な目的があります。自分の健康管理のためにも定期的に健診を受けることはとても重要です。学校保健安全法においても、年に1回、健診を受けることが義務づけられていますので、全員、受診してください。社会人の方も、学生として大学に籍があれば、定期健康診断の対象者です。もし、職場での健診を定期的に受診し健康管理ができている等の理由で、大学の健診は辞退したいという希望がある方は、早めに保健管理センターまでお知らせください。

■ 健診当日の持ち物
❖予約票（システムの予約画面から印刷してください）
❖尿（各自、学務係で採尿容器を受け取り、当日の早朝尿を採って持参してください）
❖学生証

■ 健診受付場所
大学会館1階 ※昨年と場所が違いますのでご注意ください。

■ 健診項目
身体計測（身長、体重、体脂肪率）、血圧測定、視力測定（裸眼又は矯正）、胸部レントゲン撮影、尿検査（糖、蛋白、潜血）、内科診察、歯科健診

■ 注意事項

Ⅴ　保健管理センター規則等

1．岐阜大学保健管理センター規程

2．岐阜大学保健管理センター運営委員会細則

3．岐阜大学保健管理センター学生相談室細則

4．岐阜大学健康管理機構略図

5．保健管理センター学生相談室員・学校医

6．保健管理センター関係委員会及び関係職員

7．保健管理センター位置図

Ⅴ　保健管理センター規則等

１．岐阜大学保健管理センター規程

平成19年10月１日

規程第167号

（趣　旨）

第１条　この規程は、岐阜大学学則第11条に基づき、保健管理センター（以下「センター」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

（目　的）

第２条　センターは、岐阜大学（以下「本学」という。）における学生及び職員の心身の健康の保持増進を図ることを目的とする。

（業　務）

第３条　センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

一　学内の保健計画の立案について指導援助すること。

二　定期及び臨時の健康診断の業務を行うこと。

三　健康相談に応ずること。

四　救急処置を行うこと。

五　健康診断の事後措置等健康の保持増進について必要な指導を行うこと。

六　学内の環境衛生及び伝染病予防について指導援助すること。

七　保健管理の充実向上のための調査・研究を行うこと。

八　その他健康の保持増進について必要な専門的業務を行うこと。

（組　織）

第４条 センターに次の職員を置く。

一　センター長

二　専任の教育系職員

三　医療系職員

四　その他の職員

（分　室）

第５条　センターには、必要に応じ分室を置くことができる。

２　分室に関し必要な事項は、別に定める。

（学生相談室）

第６条　センターに、学生のカウンセリングを行うため、学生相談室を置く。

２　学生相談室に関し必要な事項は、別に定める。

（センター長の職務）

第７条　センター長は、本学の教授をもって充て、センターの業務を掌理する。

（センター長等の選考）

第８条　センター長及び専任の教育職員の選考については、別に定める。

（審議機関）

第９条　センターに保健管理センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

２　運営委員会に関し必要な事項は、別に定める。

（庶　務）

第10条　センターに関する庶務は、学務部教務・学生支援課において処理する。

（雑　則）

第11条　この規程に定めるもののほか、センターに関し必要な事項は別に定める。

附　則

この規程は、平成19年10月１日から施行する。

２．岐阜大学保健管理センター運営委員会細則

平成19年10月１日

細則第160号

（趣　旨）

第１条　この細則は、岐阜大学保健管理センター規程第９条第２項の規定に基づき、保健管理センター（以下「センター」という。）の運営委員会（以下「委員会」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

（審議事項）

第２条　委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

一　保健管理の基本方針に関すること。

二　環境衛生の維持改善に関すること。

三　センター長及びセンターの専任の教育職員の選考に関すること。

四　センターの教育又は研究に関する重要事項

五　センターの予算及び決算に関すること。

六　センターの業務計画に関すること。

七　その他保健管理及びセンターの管理運営に関する重要事項

２　前項第３号について審議する場合には、次条第１項第６号及び第７号に規定する委員を除くものとする。

（組　織）

第３条　委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

一　センター長

二　担当理事

三　センターの専任の教育系職員

四　各学部（医学部を除く。）から選出された教育系職員　各１人

五　医学系研究科・医学部から選出された教育系職員　１人

六　総務部長及び学務部長

七　その他委員会が必要と認める者

２　前項第７号に規定する委員には、外部有識者を含めることができる。

３　第１項第４号、第５号及び第７号に規定する委員は、学長が委嘱する。

（任　期）

第４条　前条第１項第４号、第５号及び第７号に規定する委員の任期は、１年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員が生じたときの補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長）

第５条　委員会に委員長を置く。

２　委員長は、センター長をもって充てる。

３　委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

４　委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

（会　議）

第６条　委員会は、委員の３分の２以上の出席をもって成立する。

２　議事は、出席委員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。ただし、第２条第１項第３号に掲げる事項については、出席委員の３分の２以上の同意をもって決するものとする。

（委員以外の者の出席）

第７条　委員会が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求めて、その意見を聴くことができる。

（庶　務）

第８条　委員会の庶務は、学務部学生支援課において処理する。

（雑　則）

第９条　この細則に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は別に定める。

附　則

１　この細則は、平成19年10月１日から施行する。

２　岐阜大学保健管理センター運営委員会規則（平成16年岐阜大学規則第176号）は、廃止する。

附　則

この細則は、平成21年５月１日から施行する。

３．岐阜大学保健管理センター学生相談室細則

平成19年10月１日

細則第162号

（趣　旨）

第１条　この細則は、岐阜大学保健管理センター規程第６条第２項の規定に基づき、保健管理センター学生相談室（以下「学生相談室」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

（業　務）

第２条　学生相談室は、次の各号に掲げる業務を行う。

一　心身の悩みに関する個人相談に応ずること。

二　相談・助言及び指導に必要な資料を備えること。

三　相談・助言及び指導の調査、研究を行うこと。

（組　織）

第３条　学生相談室に次の職員を置く。

一　室長

二　学生相談室員

２　室長は、保健管理センター長（以下「センター長」という。）をもって充てる。

３　学生相談室員は、保健管理センターの専任の教育系職員及びセンター長が推薦する者をもって充てる。

４　前項に規定するセンター長が推薦する学生相談室員は、学長が委嘱する。

（秘密の厳守）

第４条　相談内容については、秘密を厳守する。

（学生相談室会議）

第５条　室長は、相談・助言及び指導に関し必要なときは、学生相談室員を招集し、学生相談室会議を主宰することができる。

２　室長は、学生相談室会議の議長となる。

３　室長に事故があるときは、室長があらかじめ指名する者が議長を代理する。

４　室長が必要と認めるときは、学生相談室会議に学生相談室員以外の者の出席を求めて、その意見を聴くことができる。

（庶　務）

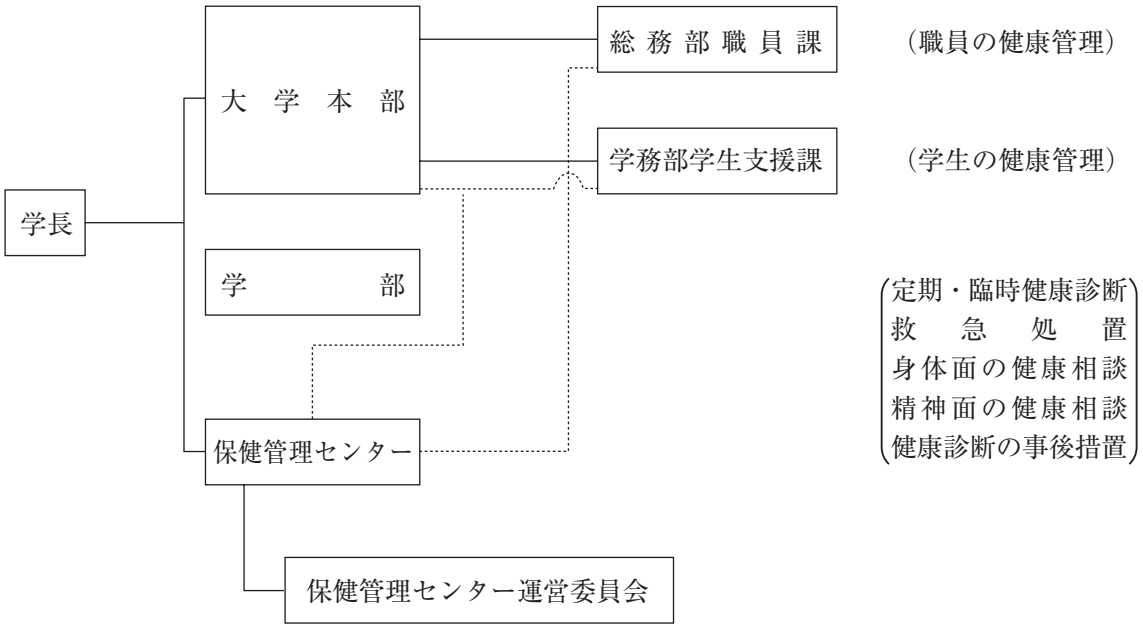
第６条　学生相談室の庶務は、学務部教務・学生支援課において処理する。

附　則

１　この細則は、平成19年10月１日から施行する。

２　岐阜大学保健管理センター学生相談室細則（平成16年岐阜大学細則第178号）は、廃止する。

4．岐阜大学健康管理機構略図



5．保健管理センター学生相談室員・学校医

平成20年度　学生相談室員

学部	氏名	所属（専門分野）
保健管理センター	清水克時	病態制御学講座　整形外科分野
	山本眞由美	内科学　糖尿病内分泌
	田中生雅	精神神経科
	浅田修市	放射線科
	佐渡忠洋	臨床心理学
	梶川幸世	臨床心理学
教育学部	大井修三	学校教育（実験心理学）
	熊谷佳代	保健体育（運動学）
	橘　良治	学校保健（教育心理学）
	鈴木　壯	生涯教育（臨床心理学）
	緒賀　聡	生涯教育（臨床心理学）
地域科学部	應　江黔	地域環境
	橋本永貢子	地域文化
医学部	天野雄平	精神神経科
	深尾　琢	神経統御学講座精神病理学
	堀川幸男	内科学
	加納克徳	内科学
	青山琢磨	内科学
	西本　裕	成人・老年看護学
工学部	服部敏雄	機械システム工学科　設計力学
	森田洋子	生命工学科　生命情報工学
応用生物科学部	八代田真人	生物生産科学講座　応用動物科学
	大屋賢司	獣医学講座　応用獣医学

平成20年度　学校医

氏　名	所　　属
高　田　信　幸	平野総合病院　院長
小　島　敏　弘	岐阜中央病院糖尿病内分泌科　部長
尾　関　茂　彦	おぜきクリニック　院長
佐　藤　まゆみ	さとう内科クリニック　院長
野　田　宜　輝	のだ医院　院長
足　立　佳代子	いなば内科　院長
三　輪　佳　行	MIWA 内科胃腸科クリニック　院長
立　山　健一郎	立山クリニック　院長
河　田　智　男	河田医院　院長
石　黒　源　之	石黒クリニック　院長
皆　川　太　郎	みながわ内科・循環器科クリニック　院長
加　藤　義　弘	医学系研究科医科学専攻神経統御学講座　スポーツ医科学分野　助教
黒　川　淳　一	犬山病院　医師
柴　田　敏　之	医学系研究科医科学専攻病態制御学講座口腔病態学分野　教授
牧　田　浩　樹	医学部附属病院　歯科口腔外科　講師
土井田　　誠	医学系研究科医科学専攻病態制御学講座口腔病態学分野　准教授
山　下　知　巳	医学部附属病院　歯科口腔外科　講師
加　藤　恵　三	医学部附属病院　歯科口腔外科　臨床講師
浅　香　雄一郎	医学部附属病院　歯科口腔外科
畠　山　大二郎	医学系研究科医科学専攻病態制御学講座口腔病態学分野　臨床講師
米　本　和　弘	医学部附属病院　歯科口腔外科
宮　崎　康　雄	医学部附属病院　歯科口腔外科
武　田　知　子	医学部附属病院　歯科口腔外科
梅　村　直　己	医学部附属病院　歯科口腔外科
玉　越　康　寛	医学部附属病院　歯科口腔外科
馬　場　政　司	医学部附属病院　歯科口腔外科
仲　尾　賢　一	医学部附属病院　歯科口腔外科
飯　田　一　規	医学部附属病院　歯科口腔外科
玉　置　也　剛	医学部附属病院　歯科口腔外科
南　谷　祐　希	医学部附属病院　歯科口腔外科

6．保健管理センター関係委員会及び関係職員

○平成20年度　保健管理センター運営委員会委員名簿　　平成20年４月１日

部　　局	役　職	氏　　名
保健管理センター長	委員長	清水克時
担当理事	委　員	古田善伯
保健管理センター専任の教育系職員	〃	山本眞由美
〃	〃	田中生雅
〃	〃	浅田修市
〃	〃	佐渡忠洋
教育学部	〃	今井　一
地域科学部	〃	竹内章郎
医学系研究科・医学部	〃	牧野茂徳
工学部	〃	矢野賢一
応用生物科学部	〃	荒井　聡
総務部長	〃	中舎善博
学務部長	〃	棚木紀雄

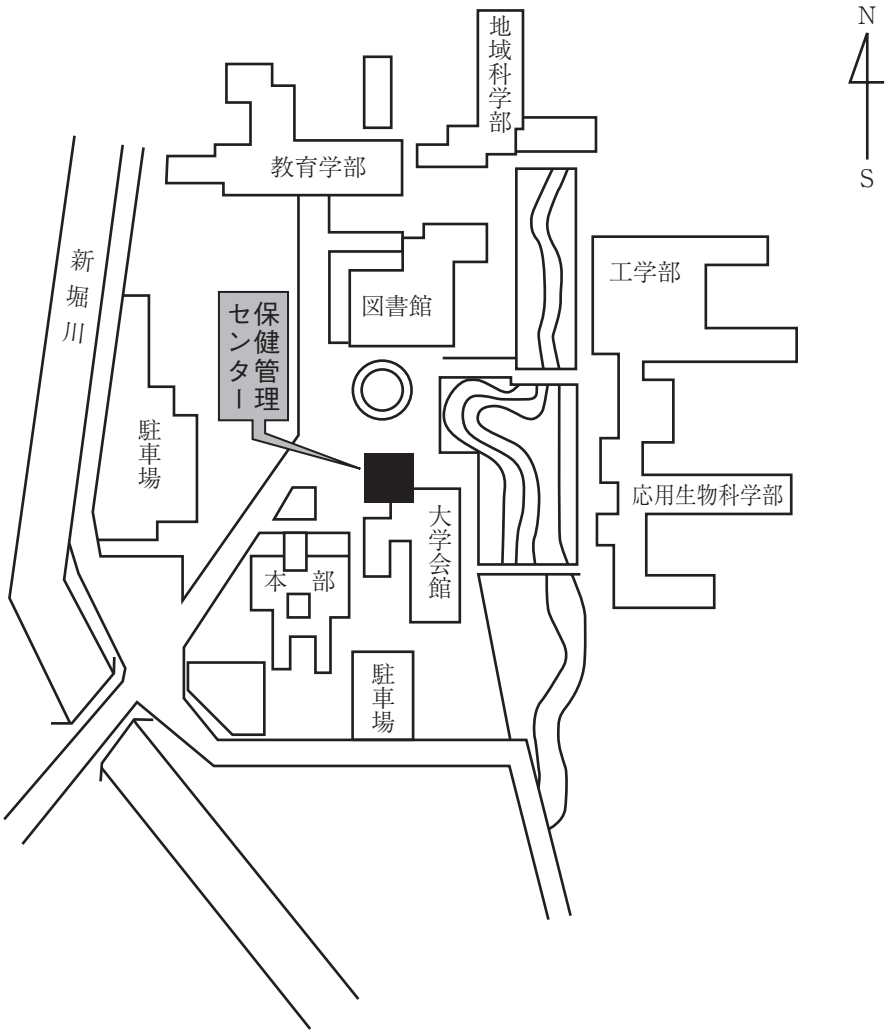
○保健管理センター

センター長（併）	清水克時
教授	山本眞由美（内科医師）
准教授	田中生雅（精神神経科医師）
助教	浅田修市（放射線科医師）
〃	佐渡忠洋（スクールカウンセラー）
保健師	臼井るり子（平成20年５月より）
〃	高井郁恵（平成20年４月より）
〃	端元加奈子（平成20年７月より）
技術補佐員	山本貴子（平成20年４月退職）
〃	加納晃子（平成20年12月退職）
〃	長瀬江利（平成21年３月退職）
臨床心理士（非常勤）	梶川幸世（平成21年３月退職）

○保健管理センター事務担当課（学務部教務・学生支援課）

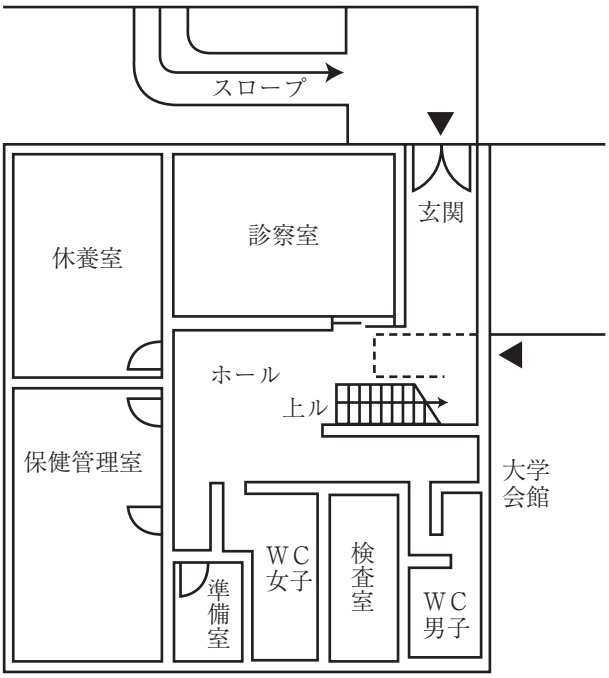
学務部教務・学生支援課長	小林勝則
学務部教務・学生支援課	豊吉昌康

7．保健管理センター位置図

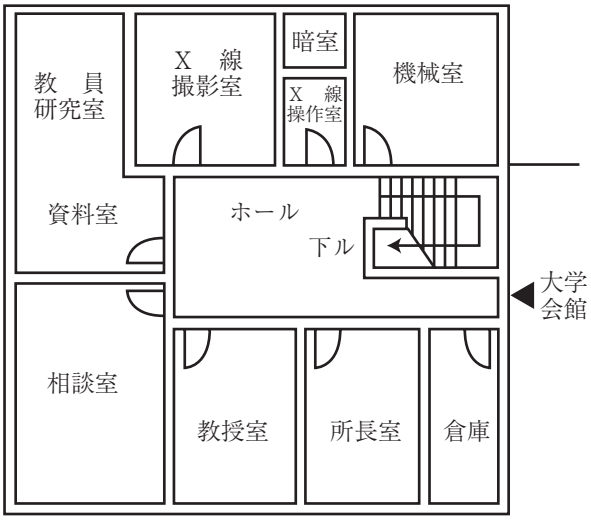


保健管理センター平面図

1　階（260㎡）



2　階（265.1㎡）



岐阜大学保健管理センター年報　第33号

平成22年３月　発行

編集
発行　岐阜大学保健管理センター

岐 阜 市 柳 戸 １ の １

ＴＥＬ 〈058〉293－2174
（ダイヤルイン）

ＦＡＸ 〈058〉293－2177